2013年度

秋田県立近代美術館年報

Akita Museum of Modern Art Annual Report, 2013

目　次

沿　革 …… 2
美術館の事業紹介 …… 3
2013(平成25)年度事業一覧 …… 5
展示事業
岩合光昭写真展「どうぶつ家族」 …… 7
光のシンフォニー 藤城清治の世界展 …… 11
ABS秋田放送開局60周年
ジパング展 沸騰する日本の現代アート …… 16
没後80年平福百穂展 …… 18
開館20年 美術館の眼Ⅶ
10年間の収集記録2004-2013 …… 20
コレクション展 …… 22
教育普及事業 30
美術館教室・みんなの教室 …… 31
ミュージアム・コンサート …… 34
美術館講座・美術講演 …… 35
出前美術館 …… 36
ネットワーク推進事業 …… 39
セカンドスクール的利用 …… 41
博物館実習 …… 42
ボランティア活動 …… 42
収集事業 43
美術品収集 …… 43
図書資料 …… 44
美術品貸し出し …… 45
調査・研究業績 …… 47
刊行物 …… 48
入館状況 …… 49
組　織 …… 50
建築・設備概要 …… 51
関係法規 …… 52
館内図 …… 54
利用・交通案内 …… 56

沿　革

1988(昭和63)年	11月		秋田ふるさと村(仮称)建設基本構想策定
1989(平成元)年	5月		秋田郷土美術館(仮称)建設基本構想策定
	12月		秋田ふるさと村(仮称)建設基本計画策定
1990(平成 2)年			文化課に新美術館建設準備担当設置
	6月		用地取得・造成工事着手
1991(平成 3)年	6月		美術館建設工事着手
1993(平成 5)年	6月		美術館建設工事完成
1994(平成 6)年	4月	20日	開館
1997(平成 9)年	10月	2日	天皇・皇后両陛下行幸啓
1999(平成11)年	4月		秋田ふるさと村入村料無料化
2001(平成13)年	1月		展示室以外の館内無料化
	9月	26日	入館者数1,000,000人を達成
2007(平成19)年	10月		入館者数1,500,000人を達成
2009(平成21)年	4月		特別展観覧料学生以下無料
2013(平成25)年	7月		入館者数2,000,000人を達成

美術館の事業紹介

◆ 展　　示

企画展

美術館独自の企画、他美術館・諸団体との共催により、広く内外の美術を対象に特色あるテーマをもった展覧会を開催します。

コレクション展

当館所蔵作品を年４～６回の展示替えを行いながら、常時公開するものです。

Exhibition

Special Exhibition

Under a unique theme, displays of native and foreign artwork are displayed in cooperaion with other museums and organizations.

Permanent Exhibition

A portion of our collection is regularly displayed and each is rotated every few months.

◆ 収　　集

近代以降の優れた美術作品を中心に、近・現代美術の思潮をたどるうえで必要な作品や資料を収集します。

①秋田蘭画・初期洋風画作品及び資料

②近代以降の本県出身及びゆかりの作家の作品や資料

③日本の美術思潮を学ぶことのできる作品や資料

④当館の収集作品としてふさわしい内外の美術作品や資料

Purchasing Activities

In order to follow the current trends in modern and presentday thought in fine art, our collection of fine works concentrates mostly on the postmodern era as described below.

① The Akita School of Ranga paintings, early westernstyle paintings in Japan, and the materials associated with these works.

② The fine art work of modern artists who are closely connected to, or are from Akita Prefecture, and related materials.

③ Works which teach us about the current thought in Japanese fine art, and the materials associated with these works.

④ Other native and foreign works which are of great substance, and the materials associated with them.

◆ 保存管理

優れた美術作品の散逸・損傷・亡失を防ぎ、後世に伝えるため、調査研究を行い、良好な環境の中で保存します。

Preservation

We have preserved all of the fine works in the best condition possible in order to prevent them from being scattered, damaged or lost.

We wish to continually improve our research and hand down these collections to future generations.

◆ 調査研究

本館の各種事業の充実を図るため、その基礎となる次のような調査研究活動を行います。

①収蔵品に関する調査研究

②秋田県の近・現代美術に関する調査

③保存・管理、教育普及活動、展示活動、創作に関する調査研究

④その他の調査

Research Activities

We are constantly researching in order to increase our knowledge and to improve the museum's collections.

① Permanent collection

② Modern and contemporary fine art from Akita Prefecture

③ Topics relating to the creation, exhibition and preservation of art, as well as the contribution of fine art to education

④ Other research

◆ 広報出版

県民に親しまれる芸術文化活動の拠点として、種々の印刷物の刊行やマスメディアとの連携等により、美術館事業に関する情報を提供します。

Publicity Works Activities

As a center of art and cultural activity for People in Akita, we provide information about museum operations through pamphlets and the mass media.

◆ 教育普及

誰でもが気軽に利用できる美術館を目指し、展示活動を始め、講演会・美術館講座・実技講座等様々な事業を行います。また、美術館ボランティアＡＭＣ(アムック)との連携により、より積極的な普及活動を行います。

Educational Activities

In cooperation with the museum volunteer group（AMC）, we hold various lectures, seminars and workshops.

2013(平成25)年度事業一覧

月／	企　画　展	コレクション展	移動展・アーティストトークほか
2013	2 月 6 日(水)～ 4 月 14 日(日) 企画展 美術館の眼Ⅵ 10年間の収集記録2004-2013 後期	1 月 25 日(金)～ 4 月 7 日(日) ｱｰﾄ･ﾘﾎﾟｰﾄ･ｱｷﾀ 2012 ｺﾚｸｼｮﾝ展 第 4 期 pick up artist 平福穂庵 穂庵のひらめき	
4		4 月 10 日(水)～ 7 月 7 日(日) ｱｰﾄ･ﾘﾎﾟｰﾄ･ｱｷﾀ 2013 ｺﾚｸｼｮﾝ展 第 1 期 巴里の小西正太郎	
	4 月 20 日(土)～ 6 月 26 日(水) 特別展 岩合光昭写真展「どうぶつ家族」		◇ 5 ／ 26（日） 岩合光昭写真展アーティストトーク＆サイン会
5			
6			◇ 7 ／ 28（日）、8 ／ 3（土）、25（日）、9 ／ 7（土）、8（日） 藤城清治展サイン会
7	7 月 6 日(土)～ 9 月 8 日(日) 特別展 光のシンフォニー 藤城清治の世界展	7 月 10 日(水)～ 10 月 6 日(日) ｱｰﾄ･ﾘﾎﾟｰﾄ･ｱｷﾀ 2013 ｺﾚｸｼｮﾝ展 第 2 期 勝平得之が歩んだ道	◆ 8 ／ 10（土）～ 8 ／ 18（日） 出前美術館～ARTがエナジアムパークにやってきた～ 会場：能代エナジアムパーク
8			◆ 9 ／ 24（火）～ 9 ／ 29（日） 出前美術館～ARTが学校にやってきた～ 会場：大館市立雪沢小学校
9	9 月 14 日(土)～ 11 月 10 日(日) 特別展 ABS 秋田放送開局 60 周年 ジパング展 沸騰する日本の現代アート		◆ 9 ／ 28（土）～ 10 ／ 26（土） 第 1 期ネットワーク事業 廣業と二人の先達－寺崎廣業・平福穂庵・小室怡々斎－ 会場：秋田県立図書館 2 階特別展示室
10		10 月 9 日(水)～ 1 月 13 日(月) ｱｰﾄ･ﾘﾎﾟｰﾄ･ｱｷﾀ 2013 ｺﾚｸｼｮﾝ展 第 3 期 珊瑚会と金鈴社の画家たち	◇ 9／14（土）ジパング展アーティストトーク&サイン会：山本太郎 ◇ 10／14（月）ジパング展アーティストトーク&サイン会：鴻池朋子 ◇ 11／4（月）ジパング展アーティストトーク&サイン会：山口晃 ◇ジパング展ギャラリートーク「教えて！現代アート」 10 ／ 20（日）椿田恵理子（秋田放送アナウンサー） 10 ／ 27（日）八重樫葵（秋田放送アナウンサー）
11	11 月 16 日(土)～ 2 月 2 日(日) 企画展 没後 80 年平福百穂展		
12			◆ 12 ／ 11（水）～ 1 ／ 26（月） 第２期ネットワーク事業 馬場彬展－GRAY OF GRAY－ 会場：秋田県立図書館２階特別展示室
	12/29（土）～ 31（月）年末休館		
2014	同上	同上	
1	1/14（火）～ 23（木）メンテナンス休館		
	同上		
2	2 月 7 日(金)～ 4 月 20 日(日) 企画展 開館 20 年　美術館の眼Ⅶ 10年間の収集記録2004-2013	1 月 24 日(金)～ 4 月 6 日(日) ｱｰﾄ･ﾘﾎﾟｰﾄ･ｱｷﾀ 2013 ｺﾚｸｼｮﾝ展 第 4 期 融解する世界 佐々木裕久の天地創造	◆ 2 ／ 2（日）～ 2 ／ 23（日） 秋田魁新報創刊140年・さきがけホール開設記念 秋田ゆかりの美術展
3			

※文中敬称略

美 術 館 講 座・講 演 会	美術館教室・コンサート・ギャラリートークなど	
◇秋田県立近代美術館館長講座 －江戸時代の美術・前期－ 講師：河野元昭 （秋田県立近代美術館長、東京大学名誉教授） ① 5／11（土） 岩佐又兵衛 ② 6／ 8（土） 狩野山雪 ③ 7／ 6（土） 狩野探幽 ④ 9／ 7（土） 久隅守景 ⑤10／ 5（土） ZIPANGU－日本美術史の観点から－ ⑥11／ 2（土） 英一蝶 ⑦ 1／11（土） 尾形光琳 ⑧ 2／ 8（土） 菱川師宣		2013
	○4／14（日）・28（日） コレクション展１期ギャラリートーク ○4／21（日）・5／12（日） 岩合光昭写真展ギャラリーツアー	4
	◎5／19（日） マンドリンとギターコンサート	5
	●6／1（土）・2（日） 美術館教室Ⅰ.日本画教室・初夏を描く ●6／9（日）・23（日）、7／21（日） 美術館教室Ⅱ.油彩画教室・果物を描く	6
◇県生涯学習センター（美の国れんけいカレッジ） 明快！Artゼミ「秋田ゆかりの日本画家」 －秋田県立近代美術館所蔵品を中心に－ 講師：河野元昭 （秋田県立近代美術館長、東京大学名誉教授） ① 6／21（金） 横山大観 ② 8／ 2（金） 小泉淳作 ③ 9／ 6（金） 平福百穂	○7／13（土）・28（日） コレクション展２期ギャラリートーク ◎7／14（日） 箏とコントラバスコンサート	7
	●8／4（日） みんなの教室Ⅰ.木のクラフト教室	8
◇10／18（金） 第１期ネットワーク展関連事業 秋田ふるさとセミナー第３回 「寺崎廣業－人と芸術－」 講師：河野元昭 （秋田県立近代美術館長、東京大学名誉教授）	○9／15（日）・21（土） ジパング展ギャラリートーク	9
	●10／6（日） ワークショップ・みんなの教室特別編「お･かお」 ○10／13（日）・27（日） コレクション展３期ギャラリートーク	10
	●10／20（日）、11／10（日） 美術館教室Ⅲ.彫刻教室・テラコッタで風景彫刻に挑戦！ ○11／17（日）、12／8（日） 平福百穂展ギャラリートーク ●11／24（日）みんなの教室Ⅱ.墨と顔彩で描こう～野菜や秋の実～	11
	●12／1（日）みんなの教室Ⅲ.クリスマスグッズづくり ◎12／21（土）クリスマスジャズコンサート	12
		2014
	○1／26（日）、2／16（日）コレクション展４期ギャラリートーク	1
	◎2／9（日）横手高等学校吹奏楽部アンサンブルコンサート ○2／15（土）、3／2（日） 美術館の眼Ⅶギャラリートーク	2
	●2／23（日）、3／9（日） ワークショップ・美術館教室特別編「開店!! ARIZO 写真館」 ●3／16（日） ワークショップ・みんなの教室特別編「お絵かきからはじめましょう！」	3

展示事業

ｉ．特別展

岩合光昭写真展「どうぶつ家族」

会　　期：2013（平成25）年４月20日（土）～６月26日（水）
主　　催：岩合光昭写真展「どうぶつ家族」実行委員会
　　（秋田県立近代美術館／AAB秋田朝日放送）
協　　賛：オリンパス株式会社、株式会社フレームマン、
　　株式会社堀内カラー
秋田展特別協賛：秋田ダイハツ
後　　援：横手市、横手市教育委員会、横手かまくらＦＭ
企画制作：クレヴィス
担　　当：西野美佳、樫尾康子

命を育む大自然を舞台に、野生動物の一瞬の輝きを撮り続ける動物写真家・岩合光昭氏による写真作品約160点を展示した。「みんな、どこかでつながっている」というテーマのもと、「どうぶつ家族に会いに行きます」「日はまた昇ります」「ゆりかごから巡ります」の３章で構成され、世界中で生きる多様な動物たちの姿をはじめ、生命の循環・つながりを感じさせる内容の展示となった。

展示室内では、家族で過ごす温かい時間や子どもたちの愛くるしい表情や厳しい環境の中で力強く生きる動物たちの姿に心を動かされている来館者が多く見られた。また、岩合氏によるアーティストトーク＆サイン会やミュージアムコンサート「マンドリンとギターコンサート」なども好評であった。「どうぶつの写真大募集」では、４６点の写真が県内外から寄せられ、展覧会を盛り上げた。

展示室入口

No.	撮影地	サイズ（cm）
1	臥龍ジャイアントパンダ保護研究センター・中国	150×100
2	臥龍ジャイアントパンダ保護研究センター・中国	100×150

Chapter 1　どうぶつ家族に会いに行きます

No.	撮影地	サイズ（cm）
3	マニヤラ湖国立公園・タンザニア	120×180
4	クイーンエリザベス国立公園・ウガンダ	90×60
5	マサイマラ国立保護区・ケニア	60×90
6	ンゴロンゴロ保全地域・タンザニア	60×90
7	マサイマラ国立保護区・ケニア	100×150
8	ンゴロンゴロ保全地域・タンザニア	90×60
9	セレンゲティ国立公園・タンザニア	60×90
10	セレンゲティ国立公園・タンザニア	48×72
11	ンゴロンゴロ保全地域・タンザニア	48×72
12	セレンゲティ国立公園・タンザニア	90×60
13	ンゴロンゴロ保全地域・タンザニア	90×60
14	セレンゲティ国立公園・タンザニア	100×150
15	セレンゲティ国立公園・タンザニア	60×90
16	セレンゲティ国立公園・タンザニア	60×90

17	セレンゲティ国立公園・タンザニア	100×150
18	セレンゲティ国立公園・タンザニア	60×90
19	アンボセリ国立公園・ケニア	60×90
20	マニラヤ湖国立公園・タンザニア	100×150
21	タランギレ国立公園・タンザニア	90×60
22	セレンゲティ国立公園・タンザニア	60×90
23	セレンゲティ国立公園・タンザニア	60×90
24	ナクル湖国立公園・ケニア	60×90
25	ボンテボック国立公園・南アフリカ	100×150
26	セレンゲティ国立公園・タンザニア	90×60
27	セレンゲティ国立公園・タンザニア	60×90
28	マニヤラ湖国立公園・タンザニア	90×60
29	マニヤラ湖国立公園・タンザニア	60×90
30	セレンゲティ国立公園・タンザニア	120×180
31	ナガラオール国立公園・インド	100×150
32	ベレンティ保護区・マダガスカル	72×48
33	ベレンティ保護区・マダガスカル	60×90
34	ボルネオ島・インドネシア	60×90
35	ボルネオ島・インドネシア	60×90
36	ダンジュンプティン国立公園・インドネシア	100×150
37	ダンジュンプティン国立公園・インドネシア	60×90
38	タンジュンプティン国立公園・インドネシア	60×90
39	臥龍ジャイアントパンダ保護研究センター・中国	60×90
40	臥龍ジャイアントパンダ保護研究センター・中国	60×90
41	サウスジョージア島・英国領	90×270
42	セレンゲティ国立公園・タンザニア	90×270
43	カンガルー島・オーストラリア	60×90
44	マチソン川流域・オーストラリア	60×90
45	スタート国立公園・オーストラリア	100×150
46	カンガルー島・オーストラリア	100×150
47	カンガルー島・オーストラリア	60×90
48	カンガルー島・オーストラリア	60×90
49	カンガルー島・オーストラリア	60×90
50	カンガルー島・オーストラリア	60×90
51	グレートバリアリーフ・オーストラリア	60×90
52	ツカンブシ諸島・インドネシア	100×150
53	シャーク湾・オーストラリア	48×72
54	シャーク湾・オーストラリア	60×90
55	スタート国立公園・オーストラリア	48×72
56	地獄谷温泉・長野県	60×90
57	地獄谷温泉・長野県	100×150
58	地獄谷温泉・長野県	120×180
59	地獄谷温泉・長野県	100×150
60	地獄谷温泉・長野県	60×90
61	地獄谷温泉・長野県	60×90
62	地獄谷温泉・長野県	48×72
63	旭川市郊外・北海道	90×60
64	旭川市郊外・北海道	60×90
65	クリスタルリバー・フロリダ州・アメリカ	60×90
66	ジャスパー国立公園・カナダ	60×90
67	ハドソン湾・カナダ	60×90

68	マニトバ州・カナダ	100×150
69	マニトバ州・カナダ	90×60
70	ウェージャーベイ・カナダ	100×150
71	ウェージャーベイ・カナダ	60×90
72	グレーシャーベイ国立公園・アラスカ州・アメリカ	48×72
73	コーツ島・カナダ	100×150
74	ウェッデル海・南極	120×180
75	南極半島	60×90
76	クロゼ諸島・南極	60×90
77	サウスジョージア島・南極	60×90

Chapter 2　日はまた昇ります

No.	撮影地	サイズ（cm）
78	セレンゲティ国立公園・タンザニア	100×150
79	セレンゲティ国立公園・タンザニア	120×180
80	ンゴロンゴロ保全地域・タンザニア	60×90
81	ナクル湖国立公園・ケニア	100×150
82	カンガルー島・オーストラリア	60×90
83	カンガルー島・オーストラリア	90×60
84	フリンダース山脈国立公園・オーストラリア	60×90
85	フリンダース山脈国立公園・オーストラリア	60×90
86	北西ハワイ諸島・アメリカ	90×135
87	北西ハワイ諸島・アメリカ	90×135
88	キンチェガ国立公園・オーストラリア	100×150
89	セレンゲティ国立公園・タンザニア	60×90
90	アンボセリ国立公園・ケニア	100×150
91	アンボセリ国立公園・ケニア	48×72
92	カンガルー島・オーストラリア	60×90
93	カンガルー島・オーストラリア	60×90
94	ナクル湖国立公園・ケニア	100×150
95	セレンゲティ国立公園・タンザニア	60×90
96	チョベ国立公園・ボツワナ	60×90
97	ランタンボール国立公園・インド	60×90
98	ランタンボール国立公園・インド	100×150
99	ランタンボール国立公園・インド	100×150
100	ランタンボール国立公園・インド	60×90
101	ハドソン湾・カナダ	100×150
102	ハドソン湾・カナダ	60×90
103	セレンゲティ国立公園・タンザニア	100×150
104	カンガルー島・オーストラリア	48×72

Chapter 3　ゆりかごから巡ります

No.	撮影地	サイズ（cm）
105	クルーガー国立公園近郊・南アフリカ	60×90
106	サンガラキ島・インドネシア	48×72
107	サンガラキ島・インドネシア	60×90
108	セレンゲティ国立公園・タンザニア	90×60
109	ンゴロンゴロ保全地域・タンザニア	100×150
110	マサイマラ国立保護区・ケニア	60×90
111	ンゴロンゴロ保全地域・タンザニア	60×90
112	ンゴロンゴロ保全地域・タンザニア	60×90

113	ンゴロンゴロ保全地域・タンザニア	60×90
114	スタート国立公園・オーストラリア	60×90
115	スタート国立公園・オーストラリア	60×90
116	セレンゲティ国立公園・タンザニア	48×72
117	セレンゲティ国立公園・タンザニア	60×90
118	セレンゲティ国立公園・タンザニア	60×90
119	ンゴロンゴロ保全地区・タンザニア	90×60
120	セレンゲティ国立公園・タンザニア	60×90
121	セレンゲティ国立公園・タンザニア	90×60
122	セレンゲティ国立公園・タンザニア	48×72
123	セレンゲティ国立公園・タンザニア	100×150
124	セレンゲティ国立公園・タンザニア	100×150
125	セレンゲティ国立公園・タンザニア	60×90
126	地獄谷温泉・長野県	90×135
127	マウイ島沖・ハワイ州・アメリカ	90×135
128	セントローレンス湾・カナダ	60×90
128-136	セントローレンス湾・カナダ	48×72
137	マウイ島沖・ハワイ州・アメリカ	60×90
138	マウイ島沖・ハワイ州・アメリカ	100×150
139	セレンゲティ国立公園・タンザニア	60×90
140	セレンゲティ国立公園・タンザニア	60×90
141	タランギレ国立公園・タンザニア	90×60
142	タランギレ国立公園・タンザニア	100×150
143	タランギレ国立公園・タンザニア	160×240
144	クイーンエリザベス国立公園・ウガンダ	60×90
145	クイーンエリザベス国立公園・ウガンダ	60×90
146	セレンゲティ国立公園・タンザニア	100×150
147	セレンゲティ国立公園・タンザニア	60×90
148	北西ハワイ諸島・アメリカ	100×150
149	ハドソン湾・カナダ	120×180
150	フォークランド諸島・イギリス領	60×90
151	フォークランド諸島・イギリス領	60×90
152-158	北西ハワイ諸島・アメリカ	90×50、90×120
159	セレンゲティ国立公園・タンザニア	100×150
160	セレンゲティ国立公園・タンザニア	60×90
161	セレンゲティ国立公園・タンザニア	48×72
162	セレンゲティ国立公園・タンザニア	100×150
163	チョベ国立公園・ボツワナ	300×450

◇関連記事

市報よこて	4/1 (No.180)、5/1 (No.182)
秋田魁新報	4/4、5/2、5/10、5/12
読売新聞	4/16、6/16
朝日新聞	4/19、4/20、
河北新報	4/28、5/28
教育あきた	3月号 (No.714)、5月号 (No.715)
あっぷる	5月号
Take Up！	5月号、6月号
月刊アンドナウ	6月号
mari mari	6月号、7月号

ⅱ． 特別展

光のシンフォニー 藤城清治の世界展

会　　期：2013(平成25)年７月６日（土）～９月８日（日）
主　　催：光のシンフォニー藤城清治の世界展実行委員会
　　（秋田魁新報社／秋田県立近代美術館）
特別協力：横手市
後　　援：横手市教育委員会／ABS秋田放送／AKT秋田テレビ／
　　AAB秋田朝日放送／エフエム秋田
協　　力：藤城清治事務所、ヤマハ、HORIPRO
　　アートプリントジャパン
担　　当：木村雅洋、樫尾康子

当館では２年ぶり２度目の開催となった藤城清治の展覧会。鮮やかな色彩と光が奏でる影絵のシンフォニーを楽しもうと、今回も多くの方々が展覧会場に足を運ばれていた。前回同様に展示室内に壁を張り巡らし、作品の背後から蛍光灯を当て影絵本来の美しさを堪能できる構成で、水槽や鏡を使った展示手法も相まって、藤城氏の代表作と秋田を題材にした「ご当地作品」を一堂に観賞できる格好の機会であった。

今回は新たに、聖書や東日本大震災をテーマにした作品群を展示し、藤城氏が被災地で実際に取材する様子を記録した映像も上映した。これらの重厚なビジョンからは、妖精や動物たちが登場するお馴染みの幻想的な作風とはまた違う、藤城氏の新たな魅力を感じた方も多かったのではないだろうか。

第1展示室

No.	題　名	制作年	寸法(横×縦/㎜)	備考
1	おんぶ	1943(昭和18)年	640×720	※ 油彩
2	少女	1946(昭和21)年	470×560	※ 油彩
3	日の出の踊り	1953(昭和28)年	600×420	※ 再制作
4	こびとのせんたく日	1953(昭和28)年	800×800	
5	小鬼のしゃしんや	1954(昭和29)年	795×655	
6	笛ふき鳥	1954(昭和29)年	595×495	
7	木馬	1955(昭和30)年	650×730	※ 再制作
8	もみじ	―	450×330	
9	月夜の道	1972(昭和47)年	600×430	
10	銀鈴の砂	1996(平成8)年	710×490	
11	はなび	1958(昭和33)年	1000×500	
12	玉ねぎと子うさぎとねこ　1	1955(昭和30)年	700×550	
13	玉ねぎと子うさぎとねこ　2	1995(平成7)年	530×530	
14	玉ねぎと子うさぎとねこ　3	1955(昭和30)年	1000×700	
15	玉ねぎと子うさぎとねこ　4	1995(平成7)年	480×700	
16	玉ねぎと子うさぎとねこ　5	1955(昭和30)年	800×700	
17	玉ねぎと子うさぎとねこ　6	1955(昭和30)年	800×600	
18	玉ねぎと子うさぎとねこ　7	1995(平成7)年	1180×560	
19	西遊記 女の顔	1959(昭和34)年	600×770	
20	西遊記 悟空の顔	1959(昭和34)年	600×750	
21	西遊記 三つの鈴	1962(昭和37)年	1050×750	
22	西遊記 八戒と沙悟浄 服に締め付けられる	1961(昭和36)年	600×690	
23	西遊記 蒸し物にされる！！	1962(昭和37)年	900×1600	
24	旅をした鬼のはなし　1	1951(昭和26)年	650×550	
25	旅をした鬼のはなし　2	1951(昭和26)年	650×550	

26	旅をした鬼のはなし ３	1951(昭和26)年	650×550	
27	旅をした鬼のはなし ４	1951(昭和26)年	650×550	
28	旅をした鬼のはなし ５	1951(昭和26)年	550×650	
29	旅をした鬼のはなし ６	1951(昭和26)年	650×550	
30	たばことこびと	1960(昭和35)年	520×530	
31	こうもり傘と少女	1979(昭和54)年	550×545	
32	証城寺の狸ばやし	1976(昭和51)年	660×470	
33	悲しきピエロ	2007(平成19)年	595×735	※ 再制作
34	わが秋のうた	1979(昭和54)年	540×490	
35	白い馬にのったこびと	1981(昭和56)年	358×385	
36	つりのこびと	1997(平成9)年	840×590	
37	花と少女	1979(昭和54)年	995×755	※ 水槽前展示
38	こびとと靴や	1974(昭和49)年	595×445	
39	こたつと猫	1980(昭和55)年	550×550	
40	かげふみ	1981(昭和56)年	468×520	
41	雪の道	1978(昭和53)年	390×1180	
42	青空のメルヘン	1980(昭和55)年	560×560	
43	蝉とりの少年	1979(昭和54)年	415×505	

第2展示室

No.	題　名	制作年	寸法(横×縦/㎜)	備考
44	猫コーナー	―	190×190	
45	猫たちのパーティー	1988(昭和63)年	800×605	
46	真夜中の工場	1980(昭和55)年	560×555	
47	セロ弾きのネコちゃん	2011(平成23)年	935×1080	
48	猫たちのクリスマス	1988(昭和63)年	630×630	
49	猫の相撲とり	2005(平成17)年	1000×1230	
50	ローリングタワーで昼寝する猫たち	1979(昭和54)年	950×710	
51	ねこともみじ	2001(平成13)年	590×890	
52	午後のキャットストリート	1984(昭和59)年	550×550	
53	幸せを呼ぶ猫	2002(平成14)年	590×590	
54	「良き隣人」活動を広げよう	2011(平成23)年	460×405	
55	銀座と平和のはと	2003(平成15)年	490×600	
56	生きるよろこび	1995(平成7)年	1155×1010	
57	こびとの帽子	1982(昭和57)年	1190×560	
58	人はみなこびとを一人もっている	2003(平成15)年	990×760	
59	雪の日のこびとたち	1975(昭和50)年	690×790	
60	あきかんとこびと	1990(平成2)年	740×300	
61	星空の木馬	2003(平成15)年	1800×1000	※ 水槽前展示
62	コスモスは詩う	2003(平成15)年	1495×935	※ 水槽前展示
63	ミズバショウと少女	1980(昭和55)年	590×590	
64	たんぽぽ	1982(昭和57)年	1010×810	
65	角笛と少年	2005(平成17)年	850×900	※ 再制作
66	海の中の幻想	1989(平成元)年	1190×470	
67	光のプレリュード	1984(昭和59)年	550×560	
68	きん色の窓	1980(昭和55)年	390×540	
69	ぼくの窓	1982(昭和57)年	550×550	
70	ひなぎく １	1990(平成2)年	1050×500	
71	ひなぎく ２	1990(平成2)年	430×590	
72	ひなぎく ３	1990(平成2)年	590×590	
73	ひなぎく ４	1990(平成2)年	590×390	
74	ひなぎく ５	1990(平成2)年	590×590	
75	四季のよろこび Ａ	2007(平成19)年	3107.5×1475	
76	四季のよろこび Ｂ	2007(平成19)年	3206.5×760	
77	ネコくんニューヨークへ行く １	1990(平成2)年	430×595	
78	ネコくんニューヨークへ行く ２	1990(平成2)年	595×390	

79	ネコくんニューヨークへ行く 3	1990(平成2)年	580×595
80	ネコくんニューヨークへ行く 4	1990(平成2)年	595×595
81	ネコくんニューヨークへ行く 5	1990(平成2)年	1050×505

第3展示室

No.	題 名	制作年	寸法(横×縦/㎜)	備考
82	ぶどう酒びんのふしぎな旅（表紙）	2010(平成22)年	550×485	※ レプリカ
83	ぶどう酒びんのふしぎな旅（中扉）	2010(平成22)年	520×520	※ レプリカ
84	ぶどう酒びんのふしぎな旅 1	2004(平成16)年	995×705	※ レプリカ
85	ぶどう酒びんのふしぎな旅 2	2004(平成16)年	598×498	
86	ぶどう酒びんのふしぎな旅 3	2004(平成16)年	399×495	
87	ぶどう酒びんのふしぎな旅 4	2004(平成16)年	390×465	
88	ぶどう酒びんのふしぎな旅 5	2010(平成22)年	595×599	
89	ぶどう酒びんのふしぎな旅 6	2004(平成16)年	798×598	
90	ぶどう酒びんのふしぎな旅 7	2010(平成22)年	498×548	
91	ぶどう酒びんのふしぎな旅 8	2004(平成16)年	897×595	
92	ぶどう酒びんのふしぎな旅 9	2010(平成22)年	600×600	
93	ぶどう酒びんのふしぎな旅 10	2010(平成22)年	555×500	
94	ぶどう酒びんのふしぎな旅 11	2010(平成22)年	595×393	
95	ぶどう酒びんのふしぎな旅 12	2004(平成16)年	597×400	
96	ぶどう酒びんのふしぎな旅 13	2004(平成16)年	1000×550	※ レプリカ
97	ぶどう酒びんのふしぎな旅 14	2010(平成22)年	550×405	※ レプリカ
98	ぶどう酒びんのふしぎな旅 15	2010(平成22)年	548×398	
99	ぶどう酒びんのふしぎな旅 16	2004(平成16)年	745×748	
100	ぶどう酒びんのふしぎな旅 17	2004(平成16)年	1000×950	
101	ぶどう酒びんのふしぎな旅 18	2010(平成22)年	1015×495	※ レプリカ
102	ぶどう酒びんのふしぎな旅 19	2010(平成22)年	399×596	
103	ぶどう酒びんのふしぎな旅 20	2010(平成22)年	600×400	
104	ぶどう酒びんのふしぎな旅 21	2009(平成21)年	1005×805	※ レプリカ
105	夕日の樹	1999(平成11)年	915×795	
106	夢見る樹	1999(平成11)年	915×795	
107	わんわん共和国	2006(平成18)年	1200×1300	
108	宮沢賢治童話 セロひきのゴーシュ	2008(平成20)年	1800×1200	※ 水槽前展示
109	クリスマスの鐘 1	1979(昭和54)年	451×630	
110	クリスマスの鐘 2	1979(昭和54)年	654×450	
111	クリスマスの鐘 3	1979(昭和54)年	1090×540	
112	クリスマスの鐘 4	1979(昭和54)年	519×520	
113	クリスマスの鐘 5	1979(昭和54)年	509×507	
114	天使のおくりもの	2001(平成13)年	760×820	
115	月のなかの兎	2006(平成18)年	680×895	
116	夢がとぶ(愛子様誕生記念)	2002(平成14)年	880×775	
117	日の出の音楽	1989(平成元)年	545×545	
118	鶴の幻想	1985(昭和60)年	590×590	
119	鶴の織物	1986(昭和61)年	1095×435	
120	天空に登る龍	2011(平成23)年	1200×800	
121	ぼくの散歩	2003(平成15)年	990×760	
122	湿原のミズバショウとこびと	2011(平成23)年	1600×1200	※ 水槽前展示
123	ムネアカドリのお話 1	1986(昭和61)年	436×598	
124	ムネアカドリのお話 2	1986(昭和61)年	600×395	
125	ムネアカドリのお話 3	1986(昭和61)年	1035×491	
126	ムネアカドリのお話 4	2008(平成20)年	896×1195	
127	ムネアカドリのお話 5	2008(平成20)年	1000×750	
128	イエスの顔	1990(平成2)年	260×340	
129	イエスの誕生	1980(昭和55)年	735×490	
130	荒野の試み	1980(昭和55)年	420×570	
131	イエス受洗	1981(昭和56)年	425×575	

132	山上の説教	1981(昭和56)年	670×445	
133	ガリラヤ湖の嵐	1981(昭和56)年	670×450	
134	イエスと子供たち	1981(昭和56)年	420×565	
135	山上の変容	1981(昭和56)年	420×575	
136	病人の癒し	1981(昭和56)年	425×575	
137	十字架	1981(昭和56)年	615×615	

第4展示室

No.	題　名	制作年	寸法(横×縦/㎜)	備考
138	陸前高田の軌跡の一本松	2012(平成24)年	900×900	※ レプリカ
139	気仙沼 陸に上がった共徳丸	2013(平成25)年	1000×675	※ レプリカ
140	フェニックス	2011(平成23)年	1000×800	
141	福島 原発ススキの里	2012(平成24)年	2000×1200	
142	南三陸町防災庁舎	2012(平成24)年	895×500	※ レプリカ
143	南三陸町防災庁舎 がれきは宝石	2012(平成24)年	900×590	※ レプリカ
144	広島赤十字病院の曲がった窓枠	2006(平成18)年	1600×1200	※ 水槽前展示
145	悲しくも美しい平和への遺産	2005(平成17)年	2000×1500	
146	九九九段、赤神神社五社堂をあえぎあえぎ描く	2011(平成23)年	1600×8000	
147	無限のかまくら	2011(平成23)年	3000×2400	
148	竿燈まつり	2008(平成20)年	1800×1200	
149	横手の雪まつり	2009(平成21)年	827×627	
150	佐渡の能舞台	2011(平成23)年	800×800	
151	太陽は昇る	2002(平成14)年	950×5600	
152	カルピス 春	2002(平成14)年	380×330	
153	カルピス 夏	2002(平成14)年	380×330	
154	カルピス 秋	2002(平成14)年	380×330	
155	カルピス 冬	2002(平成14)年	380×330	
156	夕陽の中の愛の奇跡	2004(平成16)年	655×810	
157	アリスのハート	2005(平成17)年	760×1000	※ レプリカ
158	はるかぜ	2001(平成13)年	1780×1210	※ 水槽前展示
159	小さいイーダの花	1979(昭和54)年	450×690	
160	ねずみの吉夢	1996(平成8)年	640×640	
161	ねずみの海賊船	2007(平成19)年	1200×900	
162	ジャンピングラビット	1999(平成11)年	660×660	
163	翼をください	2012(平成24)年	900×900	
164	川の流れのように	1998(平成10)年	820×820	
165	虹と鳥	1990(平成2)年	1000×1790	
166	夢生まれる(悠仁様誕生記念)	2006(平成18)年	1800×1200	
167	大曲の花火	2013(平成25)年	－	※ レプリカ
168	愛のカクテル	2004(平成16)年	540×740	※ レプリカ

－ その他の作品 －

なまはげ Ａ （影絵）	2011(平成23)年	1200×900	※ 天井吊り下げ
なまはげ Ｂ （影絵）	2011(平成23)年	1200×900	※ 天井吊り下げ
なまはげ Ｃ （影絵）	2011(平成23)年	1200×900	※ 天井吊り下げ
なまはげ Ｄ （影絵）	2011(平成23)年	1200×900	※ 天井吊り下げ
なまはげ Ｅ （影絵）	2011(平成23)年	1200×900	※ 天井吊り下げ
角館　安藤醤油・味噌醸造本店	2011(平成23)年		※ デッサン
日新館	2011(平成23)年		※ デッサン
横手城	2011(平成23)年		※ デッサン
角館　しだれ桜	2011(平成23)年		※ デッサン
なまはげ Ａ	2011(平成23)年		※ デッサン
なまはげ Ｂ	2011(平成23)年		※ デッサン
なまはげ Ｃ	2011(平成23)年		※ デッサン
自画像	2006(平成18)年		※ デッサン
自画像	2011(平成23)年		※ デッサン

自画像	2012(平成24)年	※ デッサン
猫のシャブリ	2002(平成14)年	※ デッサン
エジプシャン・マウ　アラメ	1990(平成2)年	※ デッサン
ボルゾイ犬　クレア	2003(平成15)年	※ デッサン
セントバーナード犬のパトラッシュ	2003(平成15)年	※ デッサン
アロワナの不敵な面魂	2005(平成17)年	※ デッサン
幼いチビ	－	※ デッサン
シルビア	－	※ デッサン
サルーキー　フェアリー	－	※ デッサン
ヴァイオリンを持つ少女	－	※ デッサン
法隆寺 高殿	－	※ デッサン
法隆寺 西門と五重塔	－	※ デッサン
興福寺 北円堂	－	※ デッサン
雪の室生寺 本堂	－	※ デッサン
二月堂	－	※ デッサン
長崎 青砂ヶ浦教会	－	※ デッサン
長崎 円山町 交番	－	※ デッサン
崇神天皇陵より	－	※ デッサン

－ 会期途中で追加された作品 －

生きるよろこび	2011(平成23)年	※ レプリカ
赤神神社五社道	2011(平成23)年	※ デッサン
大曲の花火 1	2013(平成25)年	※ デッサン
大曲の花火 2	2013(平成25)年	※ デッサン
大曲の花火 3	2013(平成25)年	※ デッサン
大曲の花火 4	2013(平成25)年	※ デッサン
大曲の花火 5	2013(平成25)年	※ デッサン
大曲の花火 6	2013(平成25)年	※ デッサン
大曲の花火 7	2013(平成25)年	※ デッサン
大曲の花火 8	2013(平成25)年	※ デッサン

◇関連記事

市報よこて	6/15 (No.185)、7/1 (No.186)、8/15 (No.189)
FMラジオ 秋田県からのお知らせ	6/27
秋田魁新報	7/1～9/8 (広告を含む関連記事を計38日に渡り掲載)
読売新聞秋田県版	7/9、7/28
ABS秋田放送 あさ採りワイド秋田便	7/15
mari mari life	7/26 (Vol.18)、8/9 (Vol.19)、8/23 (Vol.20)
mari mari	8/2 (Vol.215)、8/9 (Vol.216)
教育あきた	7月号 (No..716)
あきたタウン情報	7月号
あっぷる	7月号
せんだいタウン情報 S-style	7月号
月刊アンドナウ	7月号、8月号、9月号
Take Up！	7月号、8月号
rakra	7･8月号
月刊MOE	8月号

iii. 特別展

ABS秋田放送開局60周年

ジパング展　沸騰する日本の現代アート

会期：2013（平成25）年9月14日（土）～11月10日（日）
主催：ジパング秋田展実行委員会（ABS秋田放送/秋田県立近代美術館）、読売新聞社、美術館連絡協議会
協賛：ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン
企画協力：ミヅマアートギャラリー、イムラアートギャラリー
担当：山本丈志、藤井正輝

ABS秋田放送開局60年にあたり、当館との共催事業として日本の現代アートを紹介するジパング展を開催した。鴻池朋子、山本太郎、会田誠など秋田に縁のあるアーティストの出展もあり、大きな話題となった。会期中県内で開催されるアートイベントとの連携（KAMIKOANIプロジェクト、ゼロダテアートプロジェクト、あきたアートプロジェクト、ネオクラシックカクノダテなど）、アーティストトーク&サイン会、ワークショップ、おみくじ式アンケート、ABSアナウンサーを交えてのギャラリートークなどで展覧会を盛りあげることとなった。展覧会に合わせ美術館のツイッターを開設し、情報を発信した。
今回初めて、複数の学芸員による作品ガイドを制作。多角的な解説で好評だった。

第１展示室

No.	作家名	題名	制作年	技法・素材など	寸法（cm）など
1	指江昌克	HEAVEN'S DOOR	2012	油彩・キャンバス	331.3×338.0
2	金子富之	Red Banas Pati Raja	2012	岩絵具、透明水彩、ペン、箔・和紙	227.0×298.0
3	チームラボ	生命は生命の力で生きている	2011	アニメーション	6min23sec
4	田代裕基	炎天華	2007	水彩、アクリル絵具、金箔・楠	245.0×300.0×300.0
5	山本太郎	花下遊楽図	2011	紙本金地着色銀彩・二曲一双屏風	各169.0×167.0
6	山本太郎	白梅点字ブロック図屏風	2006	紙本銀地着色・二曲一双屏風	各166.7×145.6
7	天明屋尚	英姿颯爽・容貌魁偉・鎧袖一触	2008	アクリル絵具、金箔・木	178.0×60.0、178.0×86.2、178.0×60.0
8	山口晃	四季休息圖	2007	油彩・キャンバス	60.6×182.0
9	山口晃	裏表圖	2007	墨、水彩絵具・紙	各170.0×60.0
10	山口藍	へびはつるゝ	2013	アクリル絵具、綿布､毛布、パネル	90.0×73.5×4.5
11	近藤聡乃	KiyaKiya	2010-11	アニメーション	6min39sec

第２展示室

No.	作家名	題名	制作年	技法・素材など	寸法（cm）など
12	藤田桃子	世界の終わりと始まりにⅡ	2011-12	ミクストメディア	232.0×904.0
13	岡本瑛里	胞衣清水	2011	アクリル絵具、油彩・綿布	170.0×362.0
14	三瀬夏之介	風土の記	2013	金箔、青墨、胡粉、金属粉、アクリル・雲肌麻紙	272.0×360.0
15	棚田康司	父になった少女、母になった少年	2008	彩色・朴	210.0×62.5×35.0、210.0×51.0×28.0
16	山本竜基	地獄図（山本版）1	2011	アクリル絵具・キャンバス	360.2×381.3
17	町田久美	マルキ・ド・サド原作/	2003-5	墨、顔料、岩絵具・雲肌麻紙	42.0×29.5、29.5×42.0

		澁澤龍彦訳『淫蕩学校』挿絵			21点組
18	山﨑史生	horn	2011	水彩絵具・楠	188.0×43.0×35.0
19	山﨑史生	sparrow	2011	水彩絵具・楠	―
20	青山悟	東京の朝	2005	刺繍・ポリエステル布	42.5×59.0
21	青山悟	Dark Days	2008	刺繍・ポリエステル布	42.3×69.0
22	青山悟	Dark Days	2012	刺繍・ポリエステル布	42.3×69.0
23	青山悟	imagine/No More Nukes	2012	刺繍・ポリエステル布	各16.3×23.0
24	佐藤雅晴	see no evil	2011	ラムダプリント	150.0×100.0
25	佐藤雅晴	hear no evil	2011	ラムダプリント	150.0×100.0
26	佐藤雅晴	speak no evil	2011	ラムダプリント	150.0×100.0
27	宮永愛子	はるかの眠る舟	2009	ナフタリン、積み木、ミクストメディア・長持	65.7×161.2×70.5

第３展示室

No.	作家名	題名	制作年	技法・素材など	寸法（cm）など
28	伊藤遠平	Endogenous Ⅰ	2012	油彩・キャンバス	194.0×162.0
29	伊藤遠平	蛙	2013	油彩・石粉粘土、発泡スチロール	―
30	大畑伸太郎	Happy Birthday?	2012	ミクストメディア	145.5×145.5×95.0
31	樫木知子	タイルの部屋	2010	ミクストメディア・キャンバス	227.3×181.8
32	池田学	方舟	2005	ペン、インク・紙	89.5×130.5
33	池田学	興亡史	2006	ペン、インク・紙	200.0×200.0
34	会田誠	新宿御苑大改造計画	2001	チョーク、黒板塗料・シナベニヤ	182.0×846.0
35	会田誠	おにぎり仮面	2005	ミクストメディア	133.0×132.0
36	会田誠	おにぎり仮面の小さすぎる旅	2006	ビデオ	10min49sec
37	会田誠	群娘図’97	1997	ミクストメディア	各116.5×91.0 4枚組
38	渡邊佳織	カモメが翔んだ	2012	絹本着色	100.0×70.0
39	渡邊佳織	ㇵ（寸法改）	2011	絹本着色	126.3×126.2
40	熊澤未来子	より未来へ	2010	鉛筆、ジェッソ・パネル	227.0×362.6

第４展示室

No.	作家名	題名	制作年	技法・素材	寸法（cm）など
41	風間サチコ	風雲13号地	2005	木版画・紙	182.0×412.0
42	0 JUN	グロリア（上段《天然無常KEIJI丸》/下段《よど号、ではない》）	2010	油彩・キャンバス	388.0×259.0 2枚組
43	0 JUN	ハネルコ	2011	顔料・紙	171.0×125.0
44	鴻池朋子	シラ ― 谷の者 野の者	2009	墨、胡粉、金箔・雲肌麻紙	182.0×1632.0 襖12枚
45	上田順平	キンタウルス	2008	陶磁器	96.0×54.0×76.0
46	上田順平	ツカイノモノ	2006	陶磁器	122.0×63.0×58.0
47	上田順平	エンコ	2006	陶磁器	1.6×2.0×2.0
48	上田順平	ウラシマピータンパン	2009	陶磁器	162.0×120.0×144.0
49	森淳一	trinity	2011	木	164.0×84.0×74.0

◇関連記事

市報よこて	9/1（No.190）
河北新報	10/4
読売新聞秋田版	10/10、10/11、10/12
秋田魁新報	10/10、10/22
秋田タウン情報	9月号
アートコレクターズ	9月号
Take Up！	9月号
月刊アンドナウ	9月号、10月号、11月号
rakra	9・10月号
あっぷる	10月号
美術の窓	10月号

ⅳ. 企画展

没後80年平福百穂展

会期：2013（平成25）年11月16日（土）～2014（平成26）年2月2日（日）
主催：秋田県立近代美術館
担当：山本丈志、奈良香、内田洸

没後80年を記念した、日本画家平福百穂の画業を当館の収蔵品により紹介する展覧会である。初期から晩年までの作品を展示室ごとに「百穂誕生」「読無声詩」「画人遊禽」「吾師自然」のテーマを設けて展示した。テーマは単に作風の変遷をたどるものではなく、百穂の人柄、制作姿勢、仕事ぶりを伝えるために設定した。「読無声詩」「吾師自然」は落款に使われる印章から引用した。
担当者3人によるリレーギャラリートークを開催。百穂への関心が高く、来場者より「武尊誅梟帥図」「岩松」などの貴重な情報が寄せられた。アンケートは一筆箋ならぬ「百穂箋」で手軽に感想を書いていただくよう工夫した。

第1展示室　百穂誕生

No.	題名	制作年	技法・素材	形状・員数	寸法（cm）	出展・備考
1	夕涼	不詳	紙本墨画淡彩	軸装	122.6×33.0	【寄託品】
2	武尊誅梟師図	1893	紙本着色	軸装	81.0×133.0	
3	武尊誅梟師図	1894	紙本墨画淡彩	軸装	113.4×216.3	日本青年絵画協会第三回絵画共進会・三等褒状　【寄託品】
4	草刈女	1909頃	絖本着色	軸装	147.0×50.0	
5	剣峯霜秋	1924	紙本墨画淡彩	軸装	46.3×53.3	
6	山水壺	1921	素焼き・墨画	最大径	30.7×33.3	
7	議会の大隈公	1914	絖本墨画淡彩	軸装	119.5×35.8	
8	獣戯図	1915	紙本墨画	六曲一双	各93.6×296.0	
9	群鴉	1917	紙本金地墨画	二曲一双（左隻）	172.7×170.2	第1回金鈴社展
10	日本武尊・白鳥陵・相模の海	1918	紙本墨画淡彩	軸装（三幅対）	中156.0×47.0 左右156.0×40.0	第3回金鈴社展
11	富貴之薹	1917	絹本着色	軸装	141.7×50.3	第1回金鈴社展
12	菜圃	1920	絹本裏箔着色	二曲一双	各147.8×162.8	第5回金鈴社展
13	峻嶺懸瀑	1917	紙本墨画	軸装	145.4×47.3	第1回金鈴社展　【寄託品】
14	神語	1918	紙本墨画淡彩	軸装（三幅対）	各55.7×68.0	第4回珊瑚会展
15	鳳仙花と七面鳥	不詳	紙本着色	六曲一隻	162.5×345.2	

第2展示室　読無声詩　うたをこえなくよむ

No.	題名	制作年	技法・素材	形状・員数	寸法（cm）	出展・備考
16	牛・大下図	1918	紙本墨画	六曲一双	各168.5×373.8	
17	牛	1918	絹本裏箔着色	六曲一双	各168.5×373.8	第12回文展
18	芳池育鱗	1921	紙本墨画淡彩	軸装	48.0×59.0	
19	法然上人	1922	紙本墨画淡彩	軸装	107.2×50.6	第7回金鈴社展
20	富嶽図	1925	紙本墨画淡彩	軸装	255.5×139.8	
21	老松	1916	紙本墨画	二曲一双	各180.2×162.7	
22	寒竹双鶴	1927	絹本金地着色	六曲一双	各166.2×362.2	
23	堅田の一休	1929	紙本墨画淡彩	軸装	115.0×95.0	
24	春山	1933	紙本着色	軸装	91.0×104.0	第1回白田舎塾展

第3展示室　画人遊禽　がじん、とりとあそぶ

No.	題名	制作年	技法・素材	形状・員数	寸法（cm）	出展・備考
25	空庭喜雀	1921	紙本墨画淡彩	軸装	155.0×54.0	
26	富貴草	不詳	絹本着色	軸装	142.6×41.6	
27	蘆花翡翠	1929	紙本墨画淡彩	軸装	27.7×30.0	
28	古柏栗鼠	不詳	絹本着色	軸装	135.5×45.0	
29	皐月空	1932	絹本着色	軸装	139.8×42.0	【寄託品】
30	梅にうそ鳥	不詳	紙本墨画淡彩	軸装	49.0×57.3	
31	鷺鳥	不詳	紙本墨画淡彩	軸装	44.5×58.5	
32	頬白	不詳	紙本淡彩	軸装	47.5×58.5	
33	柘榴小禽	1933	紙本着色	軸装	46.6×59.3	
34	仔雀	不詳	絹本着色	軸装（扇面）	48.0×51.0	
35	雪中南天雀	不詳	紙本着色	軸装（扇面）	33.5×56.8	
36	澗泉（未完1）	1931頃	絹本墨画	軸装	134.7×35.8	
37	澗泉（未完2）	1931頃	絹本墨画	軸装	140.0×41.9	
38	澗泉	1931	絹本着色	軸装	133.5×35.5	
39	鶴	不詳	絹本墨画	軸装	76.0×35.8	
40	鶴	不詳	絖本墨画	軸装	143.0×42.8	
41	丹頂	不詳	紙本墨画淡彩	軸装	128.0×32.0	

第4展示室　吾師自然　わがしはしぜん

No.	題名	制作年	技法・素材	形状・員数	寸法（cm）	出展・備考
42	朝露	1915頃	紙本着色	六曲一双	134.9×268.6	
43	菊図	1917	紙本墨画金彩	襖（八面）	各169.5×83.0	
44	秋草図	1927頃	紙本着色	襖（四面）	各177.0×89.8	
45	岩松（板戸絵）	不詳	杉板墨画淡彩	杉戸板（二面）	158.0×93.6、158.0×99.5	
46	彩雲	1920）	絹本着色	額装	72.0×86.0	
47	柏樹	1930	紙本金泥	襖（二面）	各186.5×103.0	
48	能登の渦潮	1928	紙本墨画	額装	176.4×96.0	
49	雙鶴	1933	紙本墨画着色	額装	78.3×83.5	第4回七絃会展　金潜紙

◇関連記事

市報よこて	11/15（No.195）
月刊水墨画25-8	11/15
河北新報	12/12
mari mari	1/8（Vol.237）
秋田魁新報	1/15
読売新聞	1/30
秋田タウン情報	11月号
rakra	11・12月号、1・2月号
月刊アンドナウ	12月号、2月号
どあっぷ	12月号

ｖ．企画展

開館20年　美術館の眼Ⅶ
10年間の収集記録 2004-2013

会期：2014（平成26）年2月7日（金）～4月20日（日）
主催：秋田県立近代美術館
担当：山本丈志、西野美佳、藤井正輝、鈴木京

開館20年にあたり過去10年間の新収蔵品を紹介する展覧会である。昨年が前半5年分、今年が後半5年分の絵画作品を中心に展示した。今回は襖を和室にしつらえるよう壁に敷居・鴨居を固定し、畳敷きの屏風台ともに展示するなど工夫した。
「美術館の眼」にちなんで一筆式のアンケート「眼からうろこ」を実施。

第１展示室

No.	作家名	題名	制作年	技法・素材など	寸法（cm）	出展・備考
1	渡辺喜久蔵	北国瞬晴	1967	キャンバス・油彩	112.0×145.5	第13回一陽展
2	渡辺喜久蔵	雪国晴れたり	2005	キャンバス・油彩	194.0×162.0	第51回一陽展
3	渡辺喜久蔵	冬の谷地湿原	1986	キャンバス・油彩	130.3×162.0	第32回一陽展
4	金沢秀之助	バラ	不詳	キャンバス・油彩	45.7×37.8	
5	一木弾	阿蘇暮色	不詳	キャンバス・油彩	45.5×60.7	
6	伊藤博次	遊翔	1993	キャンバス・油彩	162.0×80.3	第37回秋田美術作家協会展
7	伊藤博次	空と海と砂と…	1983	キャンバス・油彩	100.0×100.0	※第1回明日をつくる美術展
8	伊藤博次	九月の風景	1979	キャンバス・油彩	91.0×116.0	※第17回秋田県造形美術家協会展
9	山脇佐久子	無題	1990年代	キャンバス・油彩	55.0×46.0	【寄託品】
10	山脇佐久子	拡張へ98-1	1998	キャンバス・ミクストメディア	182.0×227.0	1999第49回モダンアート展・遺作展示
11	山脇佐久子	拡張へ98-2	1998	キャンバス・ミクストメディア	182.0×227.0	1998第27回現代日本美術展
12	山脇佐久子	拡張へ98-3	1998	キャンバス・ミクストメディア	182.0×227.0	
13	山脇佐久子	拡張へ98-4	1998	キャンバス・ミクストメディア	182.0×227.0	1998第48回モダンアート展

第２展示室

No.	作家名	題名	制作年	技法・素材など	寸法（cm）	出展・備考
14	宮下勝行	空華の塔	1999	紙・水彩	50.6×38.0	
15	宮下勝行	夢寐に漂う緋の鳥	2000	紙・水彩	53.8×38.5	
16	宮下勝行	題不詳	1999	紙・水彩	40.8×29.2	
17	渋谷重弘	剥離する刻Ⅰ	2012	キャンバス・ミクストメディア	162.0×130.3	
18	渋谷重弘	剥離する刻Ⅱ	2012	キャンバス・ミクストメディア	162.0×130.3	
19	高橋功	コスモス・2	2004	合板・油彩、釘	54.8×51.0	
20	高橋功	コスモス・3	2004	合板・油彩、釘	54.9×51.0	
21	平澤理紀夫	2005年の風景	2005	板・油彩、布、網	162.0×130.3	第41回主体展
22	平澤理紀夫	vivid	2001	キャンバス・油彩	130.3×162.0	第37回主体展
23	高橋甲子男	玄山水十図	2009	紙・エッチング	各36.0×30.0	10点組
24	小紋章子	追憶	2004	キャンバス・油彩	130.3×162.0	
25	小紋章子	題はいらない　ハ	1998	キャンバス・油彩	130.3×162.0	
26	馬場彬	作品Q	1961	キャンバス・油彩	130.5×162.0	
27	針生鎮郎	ひとつ（ロ）	1982	キャンバス・油彩	227.0×182.0	
28	針生鎮郎	ひとつ（リ）	1982	キャンバス・油彩	226.5×181.5	

第３展示室

No.	作家名	題名	制作年	技法・素材	寸法（cm）	出展・備考
29	寺崎廣業	秋草図	1905	紙本着色	襖10面	各167.0×108.0他
30	奈良裕功	小春日和	不詳	紙本着色 風呂先屏風 二曲一隻	42.0×178.2	
31	奈良裕功	ダリア	1914	紙本墨画	28.0×39.6	
32	奈良裕功	ダリア	1914	紙本着色	28.0×39.6	
33	奈良裕功	ダリア	1914	紙本着色	28.0×39.6	
34	奈良裕功	ダリア	1914	紙本着色	28.0×39.6	
35	奈良裕功	菊、菊と蜻蛉	1914	紙本着色	28.0×39.6	
36	奈良裕功	菊花	1914	紙本墨画	28.0×39.6	
37	奈良裕功	菊花、蜻蛉	1914	紙本着色	28.0×39.6	
38	奈良裕功	菊	1914	紙本墨画淡彩	28.0×39.6	
39	奈良裕功	菊	1914	紙本墨画	28.0×39.6	
40	奈良裕功	菊花	1914	紙本墨画	28.0×39.6	
41	横山津恵	制作覚書ほか	1958頃	A6判ノート1冊、 B5判ノート6冊		
42	横山津恵	椅子	1950	紙本着色 二曲一隻	149.0×170.0	第3回秋田県綜合美術展
43	横山津恵	沼	1964	紙本着色	181.0×226.0	再興第49回院展
44	横山津恵	翔	1994	紙本着色	165.0×227.0	再興第79回院展

第４展示室

No.	作家名	題名	撮影年	素材・技法	寸法（cm）	撮影地・備考
45	千葉禎介	雪晴れ	1950	ゼラチンシルバープリント	30.2×25.4	秋田県横手市大雄田根森
46	千葉禎介	雪晴れ	1950年代	ゼラチンシルバープリント	30.2×25.4	秋田県横手市
47	千葉禎介	雪国晴日	不詳	ゼラチンシルバープリント	25.4×30.9	
48	千葉禎介	冬の夜	1951頃	ゼラチンシルバープリント	30.5×25.4	秋田県横手市大雄田根森
49	千葉禎介	休日	1947	ゼラチンシルバープリント	25.1×30.4	秋田県横手市
50	千葉禎介	家路	1952	ゼラチンシルバープリント	30.3×25.2	秋田県横手市
51	千葉禎介	雪の日	1941頃	ゼラチンシルバープリント	22.6×29.1	秋田県横手市大雄
52	千葉禎介	かまくら	不詳	ゼラチンシルバープリント	25.2×20.3	秋田県横手市
53	千葉禎介	雪国風俗（秋田地方）	不詳	ゼラチンシルバープリント	25.5×30.5	※秋田県横手市
54	千葉禎介	雪国風俗	不詳	ゼラチンシルバープリント	29.2×24.5	秋田県横手市
55	千葉禎介	おばこ	不詳	ゼラチンシルバープリント	30.8×22.6	
56	千葉禎介	農婦	1950頃	ゼラチンシルバープリント	30.4×25.2	秋田県横手市（旧平鹿郡）
57	千葉禎介	農婦	不詳	ゼラチンシルバープリント	30.7×24.5	
58	千葉禎介	授乳	不詳	ゼラチンシルバープリント	27.5×18.7	秋田県（旧仙北郡）
59	千葉禎介	農家の嫁	不詳	ゼラチンシルバープリント	25.7×19.1	
60	千葉禎介	農婦	不詳	ゼラチンシルバープリント	25.7×18.8	
61	千葉禎介	子供たち	1940頃	ゼラチンシルバープリント	25.5×30.3	秋田県横手市（旧平鹿郡）
62	千葉禎介	仲良し	不詳	ゼラチンシルバープリント	20.7×30.9	
63	千葉禎介	西瓜	不詳	ゼラチンシルバープリント	25.4×30.4	
64	千葉禎介	雀追い	1943頃	ゼラチンシルバープリント	25.5×31.0	秋田県横手市大雄狐塚
65	千葉禎介	夕陽の頃	1958	ゼラチンシルバープリント	25.5×30.5	秋田県横手市（旧平鹿郡） モダンプリント
66	千葉禎介	村の子供たち	1961頃	ゼラチンシルバープリント	20.4×30.9	秋田県横手市山内
67	千葉禎介	絵を描く子等	不詳	ゼラチンシルバープリント	25.4×30.5	

※は推定事項

◇関連記事

秋田魁新報　3/12
月刊アンドナウ　2月号、3月号
あきたタウン情報　2月号
せんだいタウン情報S-style　4月号

コレクション展

ⅰ．A.R.A（アート・リポート・アキタ）2013コレクション展
第Ⅰ期　巴里の小西正太郎

会期：2013（平成25）年4月10日(水)～7月7日(日)
第１展示室(６階)：日本画セレクション
第２展示室(６階)：巴里の小西正太郎
第３展示室(６階)：洋画セレクション
担当：奈良香

第1展示室　日本画セレクション

No.	作家名	作品名	制作年	素材	寸法（cm）
1	寺崎廣業	不忍池畔	1894(明治27)	絹本着色軸装	49.1×67.8
2	寺崎廣業	絶峰催春	—	絹本墨画軸装	137.0×56.0
3	結城素明	春秋山水	—	絹本着色軸装対幅	各126.0×46.0
4	平福百穂	春山	1933(昭和8)	紙本墨画淡彩軸装	91.0×104.0
5	小松均	春の最上川	1974(昭和49)	紙本墨画淡彩額装	各94.0×368.0
6	福田豊四郎	五月山湯	1933(昭和8)	紙本着色2曲1隻	144.3×201.9
7	小田野直武	写生帖	1770年代（安永年間）	紙本着色墨画1冊	42.5×28.3
8	小田野直武	不忍池図	1770年代（安永年間）	絹本着色額装	98.5×132.5
9	白雲	臘梅	1810(文化7)	紙本墨画軸装	129.0×52.0
10	佐々木原善	花鳥	—	紙本着色軸装	129.0×54.7
11	戸村後草園	花鳥	1827(文政10)	紙本墨画淡彩軸装	121.0×46.8

第2展示室　巴里の小西正太郎

No.	作家名	作品名	制作年	素材	寸法（cm）
12	小西正太郎	デッサン＜裸婦＞	1922(大正11)	コンテ／紙	47.4×31.0
13	小西正太郎	デッサン＜裸婦＞	1922(大正11)	コンテ／紙	47.9×32.1
14	小西正太郎	デッサン＜裸婦＞	1922(大正11)	コンテ／紙	48.0×31.2
15	小西正太郎	デッサン＜裸婦＞	1922(大正11)	コンテ／紙	48.1×31.2
16	小西正太郎	デッサン＜裸婦＞（寄託品）	1922(大正11)	コンテ／紙	48.1×31.3
17	小西正太郎	婦人像（寄託品）	—	パステル／紙	47.6×31.3
18	小西正太郎	婦人像（寄託品）	—	パステル／紙	47.9×31.9
19	小西正太郎	D嬢（寄託品）	1925(大正14)	油彩／カルトン	45.9×37.8
20	小西正太郎	婦人像	1925(大正14)頃	油彩／キャンバス	73.0×60.0
21	小西正太郎	マドモアゼルシモン（寄託品）	1925(大正14)	油彩／板	45.8×37.7
22	小西正太郎	裸婦	1925(大正14)	油彩／キャンバス	91.0×65.5
23	小西正太郎	裸婦	1925(大正14)	油彩／キャンバス	98.2×75.9
24	小西正太郎	裸婦	1925(大正14)	油彩／キャンバス	100.0×80.0
25	小西正太郎	婦人肖像	1924(大正13)	油彩／キャンバス	84.0×68.0
26	小西正太郎	緑衣の女の肖像	1925(大正14)	油彩／キャンバス	91.0×73.0
27	小西正太郎	若い女	1925(大正14)	油彩／キャンバス	100.0×80.9

第3展示室　洋画セレクション

No.	作家名	作品名	制作年	素材	寸法（cm）
28	小西正太郎	湖辺（寄託品）	1924(大正13)	油彩／キャンバスボード	24.4×33.5
29	田口省吾	静物	—	油彩／キャンバス	27.0×45.0
30	小杉未醒	山湖閑亭	—	油彩／キャンバス	38.0×45.5
31	金沢秀之助	布良海岸	—	油彩／キャンバス	38.0×45.0
32	藤田嗣治	オペラ座の夢	—	油彩／キャンバス	23.0×28.0
33	岡田謙三	高原	1939(昭和14)	油彩／キャンバス	191.0×255.5
34	佐藤義雄	フルートを吹くピエロ	1949(昭和24)	油彩／キャンバス	116.7×72.7
35	福沢一郎	題不詳（仮題：裸婦二人）（寄託品）	—	油彩／キャンバス	72.4×52.8
36	馬場彬	ドームについて	1993(平成5)	油彩／キャンバス	116.7×91.0
37	野呂正男	Ai-21	1971(昭和46)	モノタイプ／紙	80.3×60.6
38	野呂正男	Ai-32	1973(昭和48)	モノタイプ／紙	80.3×60.6
39	高橋功	うずまき	1996(平成8)	油彩／合板／木	122.0×87.0×3.0
40	佐藤文雄	白い壁	1985(昭和60)	油彩／キャンバス	72.8×91.0

◇関連記事

秋田魁新報　4/11
読売新聞情報紙mini おらほー県南版ー　4/30
教育あきた　5月号（No.715）

ⅱ. A.R.A（アート・リポート・アキタ）2013コレクション展
第Ⅱ期　勝平得之が歩んだ道

会期：2013（平成25）年7月10日(水) ～ 10月6日(日)
第1･2展示室（6階）勝平得之が歩んだ道
第3展示室　（6階）日本画セレクション
担当：藤井正輝

第１展示室 勝平得之が歩んだ道

No.	作家名	作品名	制作年	材質	寸法(cm)
1	勝平得之	雪の村から	—	紙・木版	25.0×11.3
2	勝平得之	〈秋田十二景〉外濠夜景	1928(昭和 3)	紙・木版	22.6×29.6
3	勝平得之	〈秋田十二景〉八橋街道	1928(昭和 3)	紙・木版	22.6×29.6
4	勝平得之	〈秋田十二景〉草生津川の秋	1929(昭和 4)	紙・木版	22.6×29.6
5	勝平得之	〈秋田十二景〉鐘楼余景	1929(昭和 4)	紙・木版	22.6×29.6
6	勝平得之	〈秋田十二景〉一丁目橋雪景	1930(昭和 5)	紙・木版	22.6×29.6
7	勝平得之	〈秋田十二景〉雪の湖月濠	1931(昭和 6)	紙・木版	22.6×29.6
8	勝平得之	〈秋田十二景〉長堤早春	1933(昭和 8)	紙・木版	22.6×29.6
9	勝平得之	〈秋田十二景〉新川橋	1936(昭和11)	紙・木版	22.6×29.6
10	勝平得之	〈秋田十二景〉夜の秋田大橋	1937(昭和12)	紙・木版	22.6×29.6
11	勝平得之	〈秋田十二景〉日吉神社随身門	1937(昭和12)	紙・木版	22.6×29.6
12	勝平得之	〈秋田十二景〉太平山遠望	1937(昭和12)	紙・木版	22.6×29.6
13	勝平得之	〈秋田十二景〉旭川暮色	1938(昭和13)	紙・木版	22.6×29.6
14	勝平得之	店	1930(昭和 5)	紙・木版	28.7×41.0
15	勝平得之	雪国の村里	1931(昭和 6)	紙・木版	28.7×41.1
16	勝平得之	雪国の市場	1931(昭和 6)	紙・木版	29.2×42.7
17	勝平得之	雪の街	1932(昭和 7)	紙・木版	36.7×51.2
18	勝平得之	五月の街	1935(昭和10)	紙・木版	45.2×57.7
19	勝平得之	〈秋田風俗十態〉梵天賣	1935(昭和10)	紙・木版	39.9×28.8
20	勝平得之	〈秋田風俗十態〉彼岸花	1935(昭和10)	紙・木版	39.9×28.8
21	勝平得之	〈秋田風俗十態〉草市	1935(昭和10)	紙・木版	39.9×28.8
22	勝平得之	〈秋田風俗十態〉笹飴	1936(昭和11)	紙・木版	39.9×28.8
23	勝平得之	〈秋田風俗十態〉犬コ市	1936(昭和11)	紙・木版	39.9×28.8
24	勝平得之	〈秋田風俗十態〉あねこ	1936(昭和11)	紙・木版	39.9×28.8
25	勝平得之	〈秋田風俗十態〉雛うり	1937(昭和12)	紙・木版	39.9×28.8
26	勝平得之	〈秋田風俗十態〉鹿島流	1938(昭和13)	紙・木版	39.9×28.8
27	勝平得之	〈秋田風俗十態〉竿燈	1938(昭和13)	紙・木版	39.9×28.8
28	勝平得之	〈秋田風俗十態〉天神様	1938(昭和13)	紙・木版	39.9×28.8
29	勝平得之	〈花四題〉春(ツバキ)	1938(昭和13)	紙・木版	67.2×36.9
30	勝平得之	〈花四題〉夏(ハス)	1938(昭和13)	紙・木版	67.2×36.9
31	勝平得之	〈花四題〉秋(菊)	1939(昭和14)	紙・木版	67.2×36.9
32	勝平得之	〈花四題〉冬(なんてん)	1939(昭和14)	紙・木版	67.2×36.9
33	勝平得之	〈千秋公園八景〉招魂社	1933(昭和 8)	紙・木版	22.4×29.7
34	勝平得之	〈千秋公園八景〉本丸晩秋	1933(昭和 8)	紙・木版	22.4×29.7
35	勝平得之	〈千秋公園八景〉春の湖月濠	1933(昭和 8)	紙・木版	22.4×29.7
36	勝平得之	〈千秋公園八景〉蛇柳夜景	1934(昭和 9)	紙・木版	22.4×29.7
37	勝平得之	〈千秋公園八景〉松下門趾	1935(昭和10)	紙・木版	22.4×29.7
38	勝平得之	〈千秋公園八景〉雨の内濠	1935(昭和10)	紙・木版	22.4×29.7
39	勝平得之	〈千秋公園八景〉眺望台の秋	1936(昭和11)	紙・木版	22.4×29.7
40	勝平得之	〈千秋公園八景〉ニノ丸の初夏	1937(昭和12)	紙・木版	22.4×29.7

第２展示室　勝平得之が歩んだ道

No.	作家名	作品名	制作年	材質	寸法（cm）
41	勝平得之	〈秋田風俗十題〉いろり	1939（昭和14）	紙・木版	29.0×40.4
42	勝平得之	〈秋田風俗十題〉かまど	1939（昭和14）	紙・木版	29.0×40.4
43	勝平得之	〈秋田風俗十題〉うまや	1940（昭和15）	紙・木版	29.0×40.4
44	勝平得之	〈秋田風俗十題〉ドッタ	1940（昭和15）	紙・木版	29.0×40.4
45	勝平得之	〈秋田風俗十題〉リンゴ	1940（昭和15）	紙・木版	29.0×40.4
46	勝平得之	〈秋田風俗十題〉はり	1941（昭和16）	紙・木版	29.0×40.4
47	勝平得之	〈秋田風俗十題〉まゆだま	1941（昭和16）	紙・木版	29.0×40.4
48	勝平得之	〈秋田風俗十題〉ささまき	1942（昭和17）	紙・木版	29.0×40.4
49	勝平得之	〈秋田風俗十題〉みづき	1943（昭和18）	紙・木版	29.0×40.4
50	勝平得之	〈秋田風俗十題〉かきだて	1943（昭和18）	紙・木版	29.0×40.4
51	勝平得之	〈米作四題〉耕土（春）	1952（昭和27）	紙・木版	40.0×131.8
52	勝平得之	〈米作四題〉田植（夏）	1950（昭和25）	紙・木版	40.0×131.8
53	勝平得之	〈米作四題〉刈あげ（秋）	1951（昭和26）	紙・木版	40.0×131.8
54	勝平得之	〈米作四題〉堆肥運び（冬）	1949（昭和24）	紙・木版	40.0×131.8
55	勝平得之	豊年盆踊	1948（昭和23）	紙・木版	40.0×127.0
56	勝平得之	七夕祭	1956（昭和31）	紙・木版	39.2×135.0
57	勝平得之	たいまつ祭	1955（昭和30）	紙・木版	39.7×133.9
58	勝平得之	かまくら	1955（昭和30）	紙・木版	39.5×140.0
59	勝平得之	番楽	1956（昭和31）	紙・木版	48.0×62.0
60	勝平得之	飾山囃子	1957（昭和32）	紙・木版	46.7×61.6
61	勝平得之	〈花売風俗十二題〉ねこやなぎ（1月）	1960（昭和35）	紙・木版	21.0×14.9
62	勝平得之	〈花売風俗十二題〉つばき（2月）	1961（昭和36）	紙・木版	21.0×14.9
63	勝平得之	〈花売風俗十二題〉もも（3月）	1959（昭和34）	紙・木版	21.0×14.9
64	勝平得之	〈花売風俗十二題〉さくら（4月）	1960（昭和35）	紙・木版	21.0×14.9
65	勝平得之	〈花売風俗十二題〉ぼたん（5月）	1961（昭和36）	紙・木版	21.0×14.9
66	勝平得之	〈花売風俗十二題〉あやめ（6月）	1959（昭和34）	紙・木版	21.0×14.9
67	勝平得之	七夕（湯沢）	1937（昭和12）	紙・木版	36.7×51.4
68	勝平得之	〈花売風俗十二題〉ゆり（7月）	1961（昭和36）	紙・木版	21.0×14.9
69	勝平得之	〈花売風俗十二題〉はす（8月）	1960（昭和35）	紙・木版	21.0×14.9
70	勝平得之	〈花売風俗十二題〉しおん（9月）	1961（昭和36）	紙・木版	21.0×14.9
71	勝平得之	〈花売風俗十二題〉すすき（10月）	1960（昭和35）	紙・木版	21.0×14.9
72	勝平得之	〈花売風俗十二題〉きく（11月）	1959（昭和34）	紙・木版	21.0×14.9
73	勝平得之	〈花売風俗十二題〉かんばな（12月）	1959（昭和34）	紙・木版	21.0×14.9

第３展示室　日本画セレクション

No.	作家名	作品名	制作年	材質	寸法（cm）
74	福田豊四郎	雪を描く男	1929（昭和 4）	紙本着色額装	77.6×109.5
75	寺崎廣業	高砂	—	絹本着色軸装	100.0×43.0
76	小田野直武	唐太宗・花鳥山水	1770代（安永年間）	絹本着色軸装3幅対	各122.0×44.5
77	平福穂庵	秋田風俗十二景屏風	1858（安政5）	紙本着色6曲1双	各128.5×339.8
78	平福百穂	翡翠	1930・31（昭和5・6）	紙本着色軸装	67.0×93.0
79	高橋萬年	銀座尾張町	—	絹本着色額装	98.5×145.5
80	館岡栗山	竿灯	—	紙本着色額装	193.9×130.3
81	信太金昌	高原	1953（昭和28）	紙本着色額装	195.5×105.5
82	横山津恵	苗の頃	1958（昭和33）	紙本着色額装	175.7×211.2
83	佐藤脩平	浜	1981（昭和56）	紙本着色額装	161.8×210.3

◇関連記事

市報よこて　7/15（No.187）
秋田魁新報　8/17
教育あきた　7月号
月刊アンドナウ　7月号

iii. A.R.A （アート・リポート・アキタ）2013コレクション展
第Ⅲ期　珊瑚会と金鈴社の画家たち

会期：2013（平成25）年10月9日(水)～2014（平成26）年1月13日(月)
　　休館日2013（平成25）年12月29日(日)～31日(火)
第１展示室(6階)：珊瑚会と金鈴社の画家たち
第２展示室(6階)：コレクション選　風景表現の行方
第３展示室(6階)：コレクション選　近現代絵画の光芒－秋田の日本画家を中心に－
担当：内田洸

第１展示室　珊瑚会と金鈴社の画家たち

No.	作者	生没年	タイトル	サイズ cm	員数	材質	制作年代
1	川端玉章	1842－1913	四時群花図	43.1×68.3	1面	絹本油彩	1877（明治10）頃
2	小川芋銭	1868－1938	浪裡白跳	60.3×90.5	1幅	紙本墨画淡彩	－
3	小川芋銭	1868－1938	富士	127.5×42.3	1幅	絹本着色	－
4	小川芋銭	1868－1938	草汁翁作海坊主	径60.6	1幅	紙本墨画淡彩	－
5	小杉放菴	1881－1964	黒真珠	46.3×55.5	1面	紙本着色	－
6	小杉放菴	1881－1964	雀の御宿	39.0×43.0	1幅	紙本墨画淡彩	－
7	酒井三良	1897－1969	残照	136.0×112.0	1幅	紙本着色	1923（大正12）
8	山村耕花	1885－1942	お七吉三	各126.0×42.0	双幅	絹本着色	－
9	川端龍子	1885－1966	鵜	136.2×51.2	1幅	絹本着色	－
10	川端龍子	1885－1966	松鯉図	60.0×73.0	1面	絹本着色	－
11	寺崎廣業	1866－1919	高山清秋	各168.2×364.2	6曲1双	絹本裏箔着色	1914（大正3）
12	鏑木清方	1878－1972	松と梅	各169.0×176.0	2面	絹本裏箔着色	1918（大正7）
13	結城素明	1875－1957	不老富貴図	各127.0×41.8	双幅	絹本着色	－
14	吉川霊華	1875－1929	駿馬	140.0×51.0	1幅	絹本着色	－

第２展示室　コレクション選　風景表現の行方

No.	作者	生没年	タイトル	サイズ cm	員数	材質	制作年代
1	小田野直武	1749－1780	富嶽図	43.5×77.0	1幅	絹本着色	1770年代（安永年間）
2	白雲	1764－1825	富士	58.0×83.5	1幅	紙本墨画淡彩	1810（文化7）
3	片山無知	1735－1806	山水	135.5×29.0	1幅	紙本墨画淡彩	－
4	寺崎廣業	1866－1919	白馬山八題：雲海曙色	57.9×89.2	1幅	紙本着色	1917（大正6）
5	寺崎廣業	1866－1919	白馬山八題：山頭団雲	57.9×89.2	1幅	紙本着色	1917（大正6）
6	寺崎廣業	1866－1919	白馬山八題：嶮峰群立	57.9×89.2	1幅	紙本着色	1917（大正6）
7	寺崎廣業	1866－1919	白馬山八題：斜山緑翠	57.9×89.2	1幅	紙本着色	1917（大正6）
8	寺崎廣業	1866－1919	白馬山八題：赭山残雪	57.9×89.2	1幅	紙本着色	1917（大正6）
9	寺崎廣業	1866－1919	白馬山八題：雪渓花苑	57.9×89.2	1幅	紙本着色	1917（大正6）
10	寺崎廣業	1866－1919	白馬山八題：緑陰渓湍	57.9×89.2	1幅	紙本着色	1917（大正6）
11	寺崎廣業	1866－1919	白馬山八題：雪渓残月	57.9×89.2	1幅	紙本着色	1917（大正6）
12	平福穂庵	1844－1890	嵐山	167.6×82.1	6面	紙本着色	1870（明治3）
13	柴田南谷	1801－1873	風俗図屏風	154.2×341.6	6曲1双	紙本着色	1856（安政3）
14	寺澤孝太郎	1884－1959	松林	168.0×182.0	2曲1隻	紙本墨画	1931（昭和6）

第３展示室　コレクション選　近現代絵画の光芒－秋田の日本画家を中心に－

No.	作者	生没年	作品名	寸法cm	員数	材質	制作年代
1	荘司福	1910－2002	祈り	110.0×125.0	1面	紙本着色	1964（昭和39）
2	横山津恵	1916－2007	フィレンツェの窓	165.0×217.0	1面	紙本着色	1989（平成元）
3	佐藤脩平	1938－1993	北の海	151.0×180.8	1面	紙本着色	1976（昭和51）
4	河津胖子	1937－	訶梨帝母	227.3×181.8	1面	紙本着色	1980（昭和55）
5	山口静恵	1910－1988	菩薩像	217.0×169.0	1面	紙本着色	1952（昭和27）
6	堀川達三郎	1921－2014	暮彩	175.1×221.0	1面	キャンバスに着色	1987（昭和62）
7	福田豊四郎	1904－1970	山の秋	各166.5×374.4	6曲1双	紙本着色	1931（昭和6）
8	堀文子	1918－	廃墟	88.1×70.7	1面	紙本着色	1948（昭和23）
9	工藤甲人	1915－2011	星と鳥	49.7×60.5	1面	紙本着色	1963（昭和38）

◇関連記事

ⅳ. A.R.A（アート・リポート・アキタ）2013コレクション展
第Ⅳ期　融解する世界　佐々木裕久の天地創造

会期：2014（平成26）年1月24日（金）～ 4月6日（日）
第1展示室(6階)：融解する世界　佐々木裕久の天地創造
第2展示室(6階)：三都に学んだ絵師たち　近世花鳥画編
第3展示室(6階)：ふたり。－昭和の日本画
担当：鈴木京

第一展示室　融解する世界　佐々木裕久の天地創造

No.	作家名	作品名	制作年	素材	寸法（ｃｍ）
1	佐々木裕久	人物と壺（仮題）	1960年代か	紙本着色・額装	103.4×72.8
2	佐々木裕久	三人の人物	1960年代か	合板・着色・額装	72.5×51.5
3	佐々木裕久	霊家族（翳）	1965-66頃	紙本着色・額装	133.5×178.3
4	佐々木裕久	破船と月（仮題）	1960年代か	紙本着色・額装	52.6×74.7
5	佐々木裕久	非形象形態・人物（仮題）	1960年代か	紙本着色・額装	50.0×72.6
6	佐々木裕久	霊家族・鳥	1967（昭和42）	紙本着色・額装	146.9×198.2
7	佐々木裕久	地の華―凍結した夜	1972（昭和47）	紙本着色・額装	120.0×165.2
8	佐々木裕久	鳥偲考―瞑	1978（昭和53）	紙本着色・額装	117.5×91.5
9	佐々木裕久	鳥偲考―韻	1979（昭和54）	紙本着色・額装	166.7×237.0
10	佐々木裕久	鳥偲考―叫	1985（昭和60）	紙本着色・額装	90.5×116.6
11	佐々木裕久	幻視断層―宙	1989（平成元）	紙本着色・四曲一隻	160.0×324.0
12	佐々木裕久	幻視断層―R103	1985（昭和60）	紙本着色・額装	162.0×227.5

第二展示室　三都に学んだ絵師たち　近世花鳥画編

No.	作家名	作品名	制作年	素材	寸法（ｃｍ）
13	小田野直武	岩に牡丹図	江戸中期	絹本着色・額装	48.3×72.7
14	小田野直武	芍薬花籠図	江戸中期	絹本着色・軸装	94.5×21.5
15	小田野直武	鱒図	1770年代（安永年間）	紙本着色・軸装	17.0×61.0
16	田代忠国・佐竹義躬	紅毛玻璃器図	1700年代後半（安永―寛政年間）	絹本着色・軸装	37.0×53.0
17	石川大浪・石川孟高	ファン・ロイエン筆花鳥図模写	1796（寛政8）	紙本着色・軸装	232.8×107.0
18	沈南蘋	鶴	1738（元文3）	絹本着色・軸装	各103.4×49.4
19	佐々木原善	菊花に蟷螂・牡丹に蝶	江戸中期	絹本着色・軸装	各108.5×28.5
20	戸村後草園	花鳥	1827（文政10）	紙本墨画淡彩・軸装	121.0×46.8
21	長山孔寅	孔雀図	1817(文化４)	紙本着色・軸装	156.0×86.0
22	増田九木	梅	1831（天保2）	紙本墨画・軸装	159.5×95.5
23	増田九木	牡丹	江戸後期	紙本着色・軸装	108.0×53.2
24	増田九木	花鳥	1823（文政6）	絹本着色・軸装	116.0×42.5
25	増田象江	花鳥	1846（弘化3）	紙本着色・六曲一双	各124.5×309.0
26	津村洞養	牡丹	江戸後期―明治期	紙本着色・二曲一隻	164.0×142.0

第三展示室　ふたり。―昭和の日本画

No.	作家名	作品名	制作年	素材	寸法（ｃｍ）
27	柴田安子	花鳥	制作年不詳	絹本着色・軸装	46.8×51.0
28	堀文子	八丈島風景B	1949（昭和24）	紙本着色・額装	70.7×88.1
29	町田曲江	太子と王妃	1936（昭和11）	絹本着色・額装	右55.0×43.0 左55.0×42.3
30	奈良裕功	桃実る	大正初－昭和初期	絹本着色・二曲一隻	174.0×201.0
31	草彅興宗	若い婦人像	制作年不詳	絹本着色・軸装	82.6×49.5
32	谷口深秋	姉妹	1932（昭和7）	紙本着色・額装	146.0×152.5
33	柴田春光	狭布の里	1928（昭和3）	絹本着色・二曲一隻	160.4×226.8
34	福田豊四郎	雪のきた国	1925（大正14）	紙本着色・軸装	71.8×120.9
35	横山津恵	花市の女たち	1963（昭和38）	紙本着色・額装	151.3×227.3
36	渡部榮子	ひととき	1981（昭和56）	紙本着色・額装	194.9×165.0

◇関連記事

市報よこて　　1/15（No.199）

教育あきた　　1月号（No.719）

教育普及事業

誰もが気軽に利用でき、美術への理解を深めることができる親しみやすい美術館を目指して、講演会や美術館教室、美術館講座等を開催している。また、美術館事業の広報活動を行うとともに、ハイビジョンギャラリーでの郷土作家を扱った美術番組等の上映、県内の美術情報や美術館に関する図書資料の提供等、美術情報センターとしての役割を果たす多面的な活動も行っている。さらに「あきたセカンドスクール推進事業」における、美術館を第二の学校とした授業の一環として、学校の学習活動を行っている。なお、県内の遠方地域に対しては、来館が困難な地域の学校を会場とした「出前美術館」、県立図書館を会場とした「ネットワーク事業」を実践している。このほか、親子で楽しく過ごせるキッズルームの開設や、団体鑑賞者に対する作品解説、美術館ボランティアによる美術館案内も実施している。

美術館教室

No.	内容	期日	対象・定員	講師	日数	参加者	担当
Ⅰ	日本画教室・初夏を描く	6月1日(土) 6月2日(日)	中学生以上一般 15名	樫尾康子(当館学芸員)	全2日	16名	樫尾
Ⅱ	油彩画教室・果物を描く	6月9日(日) 6月23日(日) 7月21日(日)	中学生以上一般 15名	渋谷重弘（洋画家）	全3日	17名	西野 奈良
Ⅲ	彫刻教室・テラコッタで 風景彫刻に挑戦！	10月20日(日) 11月10日(日)	中学生以上一般 15名	皆川嘉博（彫刻家）	全2日	9名	木村 藤井

みんなの教室

No.	内容	期日	対象・定員	講師	日数	参加者	担当
Ⅰ	木のクラフト教室	8月4日(日)	小学生以上一般 15名	木村雅洋(当館学芸員)	全2日	11名	木村
Ⅱ	墨と顔彩で描こう ～野菜や秋の実～	11月24日(日)	小学生以上一般 15名	樫尾康子(当館学芸員)	全1日	16名	樫尾
Ⅲ	クリスマスグッズづくり	12月1日(日)	小学生以上一般 15名	藤井正輝(当館学芸員)	全1日	11名	藤井

ワークショップ・特別編

No.	内容	期日	対象・定員	講師	日数	参加者	担当
Ⅰ	みんなの教室特別編 「お・かお」	10月6日(日)	小学生以上 一般30名	山本丈志・藤井正輝 (当館学芸員)	全1日	10名	山本 藤井
Ⅱ	みんなの教室特別編 「お絵かきからはじめましょう!」	3月16日(日)	小学生以上 一般20名	山本丈志 (当館学芸員)	全1日	2名	山本/藤井 西野/鈴木
Ⅲ	美術館教室特別編 「開店!!ARIZO写真館」	2月23日(日) 3月9日(日)	中学生以上 一般15名	山本丈志(当館学芸員) 菊池信夫(当館職員)	全2日	2名	山本/藤井 西野/鈴木

美術館教室

Ⅰ. 日本画教室～初夏を描く～

この教室は今回で7回目となる。制作は、以下の手順で進めた。①参加者が持参してきたモチーフをスケッチし、それをもとに画面構成をする。画面（板材）は、Ａ４のものや、細長いサイズ（Ａ４の半分）のものなど数種類準備し、モチーフや構図にあわせて選ぶことにした。②アクリル絵の具と方解末、マットメディウムによる地塗り③下絵のトレースダウン④岩絵の具による着色。二日連続の教室だったので、スケッチや構図検討などにかかる時間を調整しながら進めることができた。また、今回は胡粉を使った背景処理等にも挑戦してみた。胡粉にふれるのは初めてという参加者が多かったが、胡粉の美しさや効果、他の絵の具との違いなどを体験してもらうことができた。参加者は、中学生から70歳代までと幅広く、県北地区から泊まり込みで参加してくれた人もいた。日本画に興味関心のある方々に対応できるようこれからも教室の内容を検討していきたい。

Ⅱ. 油彩画教室「果物を描く」

秋田公立美術工芸短期大学名誉教授の渋谷重弘先生を講師にお招きした油彩画教室も、今年度で四回目となった。内容は、サムホールサイズのキャンバスに果物をモチーフとして静物画を描くというものであったが、渋谷先生独自の技法を教えていただくなど本格的な内容の教室となった。一日目は背景処理とモチーフである果物の大まかな着彩。二日目は、明暗を意識しながらの背景とモチーフへの着彩。三日目は、細部の描き込みという順序で制作は進められた。絵の具を塗っては拭き取り、また塗っては拭き取り・・・を繰り返し、薄い絵の具の層を重ねることで深みを出すグレーズという技法が用いられた。画溶液や筆にもこだわり、まさにプロならではの指導に参加者も真剣なまなざしで制作に臨んでいた。

完成した作品はどれも、中世の油彩画を思わせる深みのある色彩で、参加者は予想以上の出来映えに満足しているようだった。最後は全員で合評会。和やかな雰囲気の中、渋谷先生のコメントに耳を傾けながら、互いの作品のよさを味わっていた。

Ⅲ. 彫刻教室「テラコッタで『風景彫刻』に挑戦！」

講師に彫刻家で秋田公立美術大学の皆川嘉博准教授をお迎えしている本教室も、今年で４年目となった。人体をテーマにしてきたこれまでの制作とは趣向を変え、今回はテラコッタで「風景彫刻」に取り組んでみた。風景彫刻と一口に言っても、人体等の彫刻の後ろに風景の一部を立体的に表現したものから、景観そのものを立体化したもの、空想のイメージで風景をつくりあげたものなど多岐に渡るが、今回は特に制約を決めずに、彫刻制作における空間的な面白さや、作品に物語性を加えるなど、表現の幅を広げるような自由なアプローチで進めていった。始めに粘土でＡ４サイズほどの土台を作り、その上に箱庭的な発想で置くモチーフを決めてゆく。参加者は各自が持ち寄った写真や資料などから、何を作るかイメージを広げていった。人体を作るよりも手間がかかりそうなので、当初は時間内にできるか心配だったが、参加者はここ数年の写実的な人体の表現を離れてのびのびと制作を楽しんでいた。塑像が終わった後に乾燥・焼成して、２日目に彩色・仕上げを行い、それぞれに個性的な作品が出来上がった。

みんなの教室

Ⅰ.木のクラフト教室
「木でつくろう！くっつくメモホルダー！！」

昨年度のクラフト教室では「ふだんの生活で使えるもの」を目指して、木の「メモばさみ」を制作したが、今年はその内容をアレンジし、小さくて強力なネオジウム磁石を内蔵した木の「メモホルダー」を作ってみた。磁石を差し込んだ形を二つくっつけて机の上に置くメモばさみとして使え、さらに単体でも冷蔵庫の壁面などにもメモをとめられるのである。磁石自体が高さも直径も５㎜と小さく、木で作る形や模様のアレンジが比較的自由に出来たので、参加者は制作にあたっての構造や制限を確認した後、思い思いに各自の作品づくりに取り組んでいた。くっつけた時の形状にこだわってつくる人、事前に準備した寄せ木の素材を使い、木の模様を生かしきれいに見せようとする人などさまざまで、制作時間を十分に使い、最終的にはそれぞれの満足のいく作品が完成した。

Ⅱ.墨と顔彩で描こう～野菜や秋の実～

「没後80年平福百穂展」にちなんで、墨や顔彩を使った教室を開催した。前半は麻紙や鳥の子紙に、墨の濃淡やにじみを確かめながら筆遣いの練習をし、その後、持参した野菜や秋の実を麻紙に描き、顔彩で着色し仕上げた。後半は、色紙に描き、各自作成した落款印（ゴム印）を押して完成させた。親子３組も含め小学生から80代まで幅広い年齢層の方々が参加した。子どもたちが慎重かつ大胆に画材や表現を楽しむ様子が印象に残ったが、参加者の制作の進行状況に応じた対応や手立ての工夫がもう少し必要だった。

Ⅲ.木材によるクリスマスグッズづくり

昨年度のみんなの教室「クリスマスグッズをつくろう」から、木目に見られる色の変化に注目し、それを生かすことで様々なクリスマスグッズをデザインできるのではないかと考え、本教室を開催した。材料には色が薄めの板と濃いめの板、円形や三角形の板、太さや色の違う棒材なども準備した。完成した作品は、色の変化を生かしたうえに象嵌（ある素材に別素材をはめ込む技法）を加えたサンタやツリー、雪だるまやクマなど、木材の温もりあふれる可愛らしいグッズが多かった。最後は参加者全員の作品を巨大なツリーに飾り記念撮影をした。笑顔で撮影する参加者の姿が見られ、こういった演出も効果的であったと思う。一方、木取りの段階で適切なアドバイスができなかったため、作品が割れてしまったり、デザインした動物の体に直接ヒモ通し穴を開けてしまったりといったこともあり、こまめな机間巡視等の配慮に欠けていたと反省している。また、ステイン（着色剤）も用意したが、塗布後のワックスがけによって色落ちするケースもあり、これも今後の課題であると考えている。

ワークショップ・特別編

Ⅰ.ワークショップ・みんなの教室特別編「お・かお」

現代アートのジパング展の開催にあわせて、身近にアート体験をしていただこうと、みんなの教室「お・かお」を開講した。基本的にはクレパスで自画像を描くものだ。ただし、描画の途中の作品を写真に何度も撮っていく。描画に夢中で撮影を忘れてしまう、そんな受講者も。描き上げた作品はそのままお持ち帰りだが、撮影した画像は後日編集しアニメーションを作成、DVDに焼き付けて「お・かお　the animation」が完成した。絵は描いて終わりではなく、想像力によって楽しみ方が広がることをこのワークショップによって実感していただいたと思う。

↑※ 写真は受講生の作品。少しずつ絵が完成していきます。

Ⅱ.ワークショップ・美術館教室特別編「開店!!ARIZO写真館」

美術館の眼Ⅶ展で千葉禎介の写真を特集したことにちなみ、特別写真館を開館。現代はデジタルカメラが主流となっているが、改めてフィルム写真の良さを見直す機会となった。第１回目は、スタジオで思い思いのポーズをとりながら写真撮影。お気に入りの格好で、モデルも顔負け。どんな写真かすぐには見られないのが、アナログならでは。お楽しみはとっておくもの。第２回目は暗室にこもって印画紙の焼き付けを行う。薬品につける時間で仕上がりが様々で、ここが腕の見せ所。同じフィルムでも焼き付け方法によって、異なる表情を見せるのは、デジタル写真にはない深みである。できあがった写真は額に入れて、５階展示室出口近くに掲示した。

Ⅲ.ワークショップ・みんなの教室特別編「お絵かきからはじめましょう!」

美術館の眼Ⅶ展にあわせ、「巨匠への道もお絵かきから」として、とにかく何でも描いてみようという教室を開いた。手軽な画材で描くことを純粋に楽しみ、美術への関心をさらに高めてほしいと願っての企画だった。折しも会期直前、新型へと切り替わった秋田新幹線「こまち」。今回は参加者各自がこのこまちの客車を１両ずつ担当し、それぞれにデザインして描くという内容。ボールペンやサインペン、パステルやクレパス等の画材で描かれた絵たちは「お・かお」で好評を得たアニメーションへと編集された。描画途中の絵からはその時々のひらめきや葛藤などが思い出されるかもしれない。そのような思い出も味わいながら、本作品を末永く楽しんでいただければと思う。

ミュージアムコンサート

○　マンドリンとギターコンサート

日　　時　2013年5月19日（日）
　　1回目…午後1時30分～午後2時10分
　　2回目…午後3時00分～午後3時40分
場　　所　秋田県立近代美術館5階中央ホール
出　　演　平丈恵（マンドリン）、神原順一（ギター）
演奏曲目　NHK番組「人間ドキュメント」のテーマ曲加古隆作曲「黄昏のワルツ」
　　映画「千と千尋の神隠し」より　久石譲作曲「いのちの名前」
　　ブエノスアイレス組曲より「サンテルモ」
　　長岡克己作曲「Kaze～風～」　ほか
観覧者数　156人

○　箏とコントラバスコンサート

日　　時　2013年7月14日（日）
　　1回目…午後1時30分～午後2時10分
　　2回目…午後3時00分～午後3時40分
場　　所　秋田県立近代美術館5階中央ホール
出　　演　田中郷子（箏）
　　佐藤　毅（コントラバス）
演奏曲目　成田為三作曲「浜辺の歌」
　　宮澤賢治作曲「星めぐりの歌」
　　原田真二作曲「メトロポリタン美術館」　ほか
観覧者数　247人

○　クリスマスジャズコンサート

日　　時　2013年12月21日（土）
　　第1部…午前11時00分～午前11時40分
　　第2部…午後１時30分～午後2時10分
場　　所　秋田県立近代美術館5階中央ホール
出　　演　ザ・ブリッジーズ
　　YUKA：ヴォーカル
　　伊藤ツト虫：ピアノ
　　ほさかかつを：ベース
　　YUKI　MORITOKI：ドラム
演奏曲目　第1部
　　ホエン　ユー　アー　スマイリング、
　　レット　イット　ビー、　アメージング　グレイス　ほか
　　第2部
　　ザッツ　オール、　フォロー　ミー、
　　オブセッション　ほか
観覧者数　135人

○　横手高等学校吹奏楽部アンサンブルコンサート

日　　時　2014年2月9日（日）　午後1時30分～午後2時30分
場　　所　秋田県立近代美術館5階中央ホール
出　　演　横手高等学校吹奏楽部1，2年生46名
演奏曲目　オーボエ・ファゴット三重奏
　　モーツァルト作曲「ディヴェルティメント」
　　NHK連続テレビ小説「ごちそうさん」主題歌
　　ゆず作曲「雨のち晴レルヤ」
　　金管八重奏　福田洋介作曲「花円舞」　ほか
観覧者数　151人

美術館講座・美術講演

美術の鑑賞と理解を深めるために、河野元昭館長が美術館講座として「江戸時代の美術・前期」を8回実施した。また、秋田市の秋田県生涯学習センターを会場に、館長が講座を3回実施した。詳細は次のとおりである。

◇美術館講座「館長講座」－江戸時代の美術・前期－
講師：河野元昭館長
全8回、登録受講者数 95名、延べ受講者数　400名（6F研修室）
① 5月11日　岩佐又兵衛
② 6月 8日　狩野山雪
③ 7月 6日　狩野探幽
④ 9月 7日　久隅守景
⑤10月 5日　ZIPANGU－日本美術史の観点から－
※特別展「ZIPANGU　沸騰する日本の現代アート」にちなんで
⑥11月 2日　英一蝶
⑦ 1月11日　尾形光琳
⑧ 2月 8日　菱川師宣

◇県生涯学習センター（美の国れんけいカレッジ）
明快！Artゼミ　「秋田ゆかりの日本画家」－秋田県立近代美術館所蔵品を中心に－
講師：河野元昭館長
全3回、延べ受講者数 159名
① 6月21日　横山大観
② 8月 2日　小泉淳作
③ 9月 6日　平福百穂

出前美術館

出前美術館～ARTが学校にやってきた～

会　期：2013 年 9 月 24 日（火）～ 9 月 29 月（日）
主　催：秋田県立近代美術館
共　催：大館市教育委員会
会　場：大館市立雪沢小学校
担　当：三浦直、樫尾康子、西野美佳
作品数：４０点（日本画４、洋画１３、版画７、工芸３、
　　書道２、彫刻５、スケッチ４、木の遊具２）
参加者（児童・生徒・教員・一般）：1,740 名

芸術作品の鑑賞体験がどこの学校でもできるようにと、来館が難しい地域の学校にこちらから出向いて実施している展覧会である。９年目を迎えた今年度は、９月 24 日から 29 日までの６日間にわたり大館市立雪沢小学校で実施した。全校児童 21 人という小さな学校だったが「ちびっ子学芸員」として全員が美術館の作品を来客に紹介する取り組みをした。ちびっ子学芸員は好評で、広報誌にも大きく取り上げられた。今年度で閉校するということもあり、近隣の学校や地域住民、卒業生などがたくさん訪れ、展覧会を楽しんでくれた。また、大館市教育委員会より移動用のバスの手配や、校内に休憩スペースの設置・対応（託児やお茶のサービス）の協力があった。

「みる」　（絵画・版画・工芸）　さわらないでね！

No.	作家名	作品名	制作年	技法・素材	寸法（cm）	展示場所
1	福田豊四郎	軍鶏	1954(昭和29)	紙本着色	89.5×　63.7	2階あかしやホール
2	福田豊四郎	田園抄　村童12ヶ月	1964(昭和39)	紙本着色	各17.8×　13.9	2階図書室･展示室前
3	福田豊四郎	八幡平	1952(昭和27)	鉛筆、水彩・紙	25.7×　36.0	〃
4	福田豊四郎	同和鉱業小坂製錬所	－	鉛筆、水彩・紙	左35.4×25.2 右35.6×25.2	〃
5	福田豊四郎	鴛	－	鉛筆、墨、水彩・紙	34.1×　38.8	〃
6	福田豊四郎	子雀	－	鉛筆、水彩・紙	18.6×　28.4	〃
7	横山　津恵	風の声	1988(昭和63)	紙本着色	91.0×　60.6	2階あかしやホール
8	横山　津恵	花篭	1990(平成　2)	紙本着色	88.5×102.5	〃
9	伊藤　博次	黄昏のメモリー	1998(平成10)	油彩・キャンバス	80.5×116.5	〃
10	伊藤　弥太	(作品)Ⅰ	1959(昭和34)	油彩・キャンバス	130.0×　97.0	〃
11	伊藤　弥太	北国の街(その二)	1970(昭和45)	油彩・キャンバス	90.9×116.7	〃
12	金子　義償	郊外	1991(平成　3)	油彩・キャンバス	193.9×　97.0	〃
13	金子　義償	落葉	1991(平成　3)	油彩・キャンバス	162.1×　97.0	〃
14	草薙　　隆	牛B	1968(昭和43)	油彩・キャンバス	97.0×130.3	〃
15	斎藤　寅彦	時の跡(1)	1983(昭和58)	油彩・キャンバス	116.7×　90.9	〃
16	佐々木良三	痕跡A	1980(昭和55)	油彩・キャンバス	193.9×162.1	1階すぎのこホール
17	渋谷　重弘	花の章	1995(平成　7)	ミクストメディア・箔・紙・板	162.1×162.1	2階あかしやホール
18	高橋　　功	コスモス･2	2004(平成16)	油彩・木	54.8×　51.0	1階すぎのこホール
19	高橋　　功	コスモス･3	2004(平成16)	油彩・木	54.9×　51.0	〃
20	奈良清四郎	大地(母子像)	1986(昭和61)	油彩・キャンバス	52.9×　65.3	2階あかしやホール
21	三浦　明範	朝の祭壇	1989(平成　1)	テンペラ・油彩・キャンバス	162.3×130.3	1階すぎのこホール
22	勝平　得之	奥入瀬の秋	1931(昭和　6)	木版・紙	29.2×　39.0	〃
23	勝平　得之	十和田湖発荷峠	1931(昭和　6)	木版・紙	29.5×　38.0	〃
24	勝平　得之	収穫	1933(昭和　8)	木版・紙	37.6×　52.2	〃
25	勝平　得之	秋田風俗十題　ドッタ	1940(昭和15)	木版・紙	29.0×　40.4	〃
26	馬場　　彬	象徴の消滅	1981(昭和56)	シルクスクリーン・紙	72.0×　72.0	〃
27	三村　治男	朝の海	1981(昭和56)	木版・紙	54.0×　37.0	〃
28	三村　治男	紅葉	1993(平成　5)	木版・紙	37.0×　56.0	〃

29	関谷　四郎	金彩壺	1983(昭和58)	鍛金・銅・鍍金	径18.8×高25.0	1階お話広場
30	関谷　四郎	赤銅銀銅接合皿	1983(昭和58)	接合・鍛金・赤銅・銀・銅・鍍金	7.0×30.0×30.0	〃
31	佐々木　英	蒔絵彩切貝水指「秋の日」	1978(昭和53)	キハダ・銅・鮑貝・蒔絵粉・色漆	径15.5×高20.0	〃
32	松井　如流	野	1982(昭和57)	墨・紙	83.0×　76.0	2階あかしやホール
33	松井　如流	成	1969(昭和44)	墨・紙	68.0×　68.0	〃

「さわる」　（彫刻）　やさしくさわってね！

No.	作家名	作品名	制作年	技法・素材	寸法（cm）	展示場所
34	高田　博厚	女優のマスク	1934(昭和 9)	ブロンズ	21.5×15.0×16.0	1階すぎのこホール
35	高田　博厚	男のトルソ	1973(昭和48)	ブロンズ	30.0×21.0×19.5	〃
36	高田　博厚	女のトルソ	1973(昭和48)	ブロンズ	30.0×22.5×20.0	〃
37	工藤　　健	座る女	1988(昭和63)	ブロンズ	73.0×31.0×43.0	〃
38	野口　裕史	風韻	2004(平成16)	銅	60.0×160.0×76.0	1階お話広場

「あそぶ」　（木のオブジェ）　なかよくあそんでね！　あとかたづけもね！

No.	作家名	作品名			展示場所
39	杉山　明博	何ができるかな？	円形を用いた	自在具	2階図書室・展示室
40	－	木の砂場			〃

◇関連記事

おおだて新報　9/22,9/25
北鹿新聞　9/22
秋田魁新報　9/26

出前美術館～ARTがエナジアムパークにやってきた～

会　期：2013 年 8 月 10 日（土）～ 8 月 18 月（日）
主　催：東北電力（株）能代エナジアムパーク
　　秋田県立近代美術館
会　場：能代エナジアムパーク　カルチャーホール
担　当：三浦直、樫尾康子
作品数：10 点（工芸 8、木の遊具 2）
参加者（一般）：3,600 名

「みる」（工芸）

No.	作家名	作品名	制作年	技法・素材	寸法（縦×横cm）
1	関谷四郎	金彩花瓶	1965(昭和40)	鍛金・鍍金・銅・金	径18.0×高さ25.0
2	関谷四郎	鉄壺	1976(昭和51)	鍛金・鍍金・鉄・金	径26.5×高さ26.5
3	関谷四郎	黒銅金彩花瓶	1980(昭和55)	鍛金・鍍金・黒銅・金	径20.5×高さ20.5
4	関谷四郎	銅鉄接合花瓶	1983(昭和58)	鑞付け接合・鍛金・鍍金・銅・鉄・金	19.0×27.3×27.3
5	関谷四郎	金彩壺	1983(昭和58)	鍛金・銅・鍍金	径18.8×高さ25.0
6	関谷四郎	赤銅銀銅接合皿	1983(昭和58)	接合･鍛金･赤銅･銀･銅･鍍金	7.0×30.0×30.0
7	関谷四郎	壺	1984(昭和59)	鍛金・鍍金・銀・金	径21.0×高さ35.0
8	関谷四郎	花器(ばら文花器)	1985(昭和60)	鍛金・鍍金・漆仕上げ・銅・金・漆	径11.2×高さ12.8

「あそぶ」（木のオブジェ）　なかよくあそんでね！　あとかたづけもね！」

No.	作家名	作品名	制作年	技法・素材	寸法（縦×横cm）
9	一	木の砂場			
10	一	木のパズル			

秋田魁新報創刊140年・さきがけホール開設記念　秋田ゆかりの美術展

会　期：2014 年 2 月 2 日（日）～ 2 月 23 月（日）
主　催：秋田魁新報社、秋田県立近代美術館
会　場：秋田魁新報社１Ｆ　さきがけホール
担　当：三浦直、樫尾康子
作品数：38 点（洋画 35、彫刻 3）
参加者（一般）：2,373 名

◇関連記事
秋田魁新報社　12/27 1/3,17,28　2/1,2,3,14,23

◆ギャラリー◆さきがけプラザ

	作家名	作品名	制作年	材質	寸法(cm)
1	小西正太郎	緑衣の女の肖像	1925(大正14)	油彩／キャンバス	91.0×73.0
2	金沢秀之助	樹下弾琴	1966(昭和41)	油彩／キャンバス	130.3×97.0
3	伊勢　正義	冬	1939(昭和14)	油彩／キャンバス	161.0×130.0
4	伊藤　弥太	象潟の初夏	1969(昭和44)	油彩／キャンバス	130.3×162.1
5	伊藤　博次	Ｌｕｎｅ(月)	1978(昭和53)	油彩／キャンバス	90.9×116.7
6	大原　省三	座像	1952(昭和27)	油彩／キャンバス	130.5×64.8
7	佐々木宗一郎	けし	1981(昭和56)	油彩／キャンバス	130.3×162.1
8	宮腰喜久治	まつりの日	1988(昭和63)	油彩／キャンバス	130.3×162.1
9	藤井　勉	フリージア	1983(昭和58)	油彩／キャンバス	90.9×116.5
10	斎藤　昇	ワンダーランド Ⅱ	1989(平成元)	油彩／キャンバス	112.1×145.5
11	大塚　博	座る人	1991(平成 3)	油彩／キャンバス	162.1×130.3
12	紺野　五郎	留守家族－待ちぼうけ	1975(昭和50)	油彩／キャンバス	193.9×130.3
13	山脇佐久子	無への位相 '96-1	1996(平成 8)	油彩／キャンバス	194.0×162.0
14	馬場　彬	有限的眺望 A	1983(昭和58)	油彩／キャンバス	130.3×162.0
15	金子　義償	水景	1996(平成 8)	油彩／キャンバス	130.3×162.1
16	渋谷　重弘	あかよろし	1997(平成 9)	ミクストメディア・箔／キャンバス	130.3×162.1
17	佐々木良三	痕跡 A	1980(昭和55)	油彩／キャンバス	193.9×162.1
18	三浦　明範	BREAKFAST	1991(平成 3)	テンペラ・油彩／キャンバス	193.3×162.2
19	加藤　貞子	人形衆 Ⅵ	1979(昭和54)	油彩／キャンバス	181.8×227.3
20	高橋　功	円と線－黄色	1998(平成10)	油彩・ピアノ線／合板	65.0×40.7
21	小川　恒雄	地の徳	1992(平成 4)	油彩／キャンバス	181.3×227.3
22	斎藤　寅彦	紙ふうせん	1991(平成 3)	油彩／キャンバス	227.3×162.1
23	伊藤　康夫	ARCADIA(鳩を追う)	1992(平成 4)	油彩／キャンバス	193.0×162.0

	作家名	作品名	制作年	材質	寸法(cm)
24	水戸敬之助	室内	1965(昭和40)	油彩／キャンバス	112.1×145.5
25	佐藤　文雄	うつむく女神	1991(平成 3)	油彩／キャンバス	194.0×162.1
26	葛西　康	雪庭（寒日）	1962(昭和37)	油彩／キャンバス	130.0×162.0
27	小関　利雄	動物日記－海－	1988(昭和63)	油彩／キャンバス	162.1×130.3
28	奈良清四郎	閉山した陸中の鉱山	1978(昭和53)	油彩／キャンバス	130.3×162.1
29	河村千代三	風の軌跡	1961(昭和36)	油彩／キャンバス	97.0×130.3
30	木島　恭一	トレドへの道	1970(昭和45)	油彩／キャンバス	130.3×162.2
31	木村　榮治	黒い雨 Ⅰ	1971(昭和46)	油彩／キャンバス	162.7×131.8
32	田宮　進	追想の断片	1989(平成元)	油彩／キャンバス	130.3×162.3
33	池内　茂吉	萌	1989(平成元)	油彩／キャンバス	130.3×162.1
34	田中　木芽	閉じ込めた赤	1994(平成 6)	油彩／キャンバス	161.9×193.8
35	斎藤　隆三	明りをもとめて	1994(平成 6)	油彩／キャンバス	194.0×162.0
36	峯田　敏郎	記念撮影 -きのう・きょう・あした-	1996(平成 8)	桂・紅松・着色	H260×W230×D130
37	峯田　敏郎	記念撮影－塀－	2000(平成12)	樟・着色	H170×W450×D80
38	峯田　敏郎	記念撮影 -内陸縦貫鉄道・初めての旅-	2005(平成17)	樟・桂・着色	H125×W107×D67

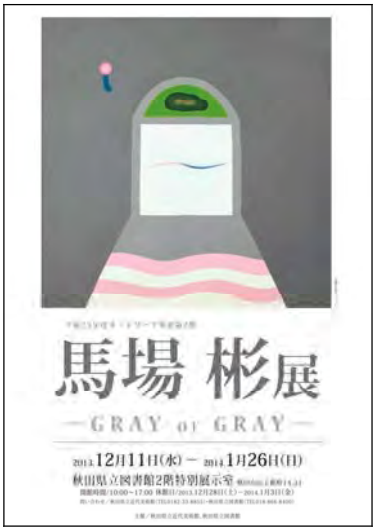
ネットワーク推進事業　（共催：秋田県立近代美術館、秋田県立図書館）

第１期ネットワーク事業
廣業と二人の先達－寺崎廣業・平福穂庵・小室怡々斎－

会場：秋田県立図書館 2階特別展示室
会期：2013（平成25）年9月28日（土）～10月26日（土）　30日間（休館日10月1日）
展示作品：当館所蔵作品・資料から、本県出身で明治時代に活躍した日本画壇の重鎮・寺崎廣業と、廣業に関連の深い二人の先達（平福穂庵・小室怡々斎）の作品14点と写生帖、書籍などの資料を展示
関連事業　　秋田ふるさとセミナー第3回　「寺崎廣業－人と芸術－」
　　講師：河野元昭館長
　　期日：2013（平成25）年10月18日（金）13：30～15：00
　　会場：秋田県立図書館3階多目的ホール
　　参加者：41 名
担当：三浦　直・木村雅洋
入場者数：2,461 名

No.	作者	作品名	制作年	形状・素材	寸法（cm）
1	小室怡々斎	鍾馗	1887（明治 20）	絹本着色 軸装	147.5 × 101.0
2	小室怡々斎	嵐峡桜花	－	紙本墨画淡彩 軸装	135.0 × 54.0
3	平福　穂庵	蕭何追韓信図	1886（明治 19）頃	絹本着色 軸装	126.8 × 56.2
4	平福　穂庵	アイヌ捕漁図	1884（明治 17）頃	紙本着色 軸装	129.8 × 60.1
5	平福　穂庵	鶴ヶ岡静ノ舞	1883（明治 16）	絹本着色 軸装	39.5 × 58.0
6	寺崎　廣業	小野小町	1899（明治 32）頃	絹本着色 軸装	127.2 × 50.5
7	寺崎　廣業	美人観月図	－	絹本着色 軸装	118.5 × 50.5
8	寺崎　廣業	美人	－	絹本着色 軸装 3 幅対	各 126.0 × 50.0
9	寺崎　廣業	天の岩戸	－	絹本着色 軸装	147.0 × 84.0
10	寺崎　廣業	聖徳太子立像	1914（大正 3）	絹本着色 軸装	128.0 × 50.0
11	寺崎　廣業	不忍池畔	1894（明治 27）	絹本着色 軸装	49.1 × 67.8
12	寺崎　廣業	墨堤之雪	1893（明治 26）	絹本着色 軸装	65.6 × 110.4
13	寺崎　廣業	谿間の雪	－	絹本墨画 軸装	175.7 × 72.7
14	寺崎　廣業	絶峰催春	－	絹本墨画 軸装	137.0 × 56.0
○資料					
	小室怡々斎	小室怡々斎書俳句		紙・墨	34.0 × 34.0
	平福　穂庵	穂庵画帖		紙本墨画淡彩 3 冊中 2 冊	各 33.0 × 21.4
	寺崎　廣業	廣業遺墨		紙本墨画 2 冊	各 31.0 × 17.0
	寺崎　廣業	廣業画帖		紙本墨画 1 冊・28 図	30.0 × 21.0
	寺崎　廣業	廣業印譜		巻子	15.3 × 252.5
		関係書籍等資料（怡々斎・穂庵・廣業）			

第２期ネットワーク事業　馬場彬展－GRAY OF GRAY－



会場：秋田県立図書館 2階特別展示室
会期：2013(平成25)年12月11日(水)～2014(平成26)年1月26日(日)
　　40日間（休館日12月28日～1月3日）
展示作品：当館所蔵作品から、画家馬場彬の「GRAY　OF　GRAY」の版画シリーズ8点と同時期に描かれた油彩画3点、資料（図録等）を展示。
担当：三浦　直・西野美佳
入場者数：2,853 名
◇関連記事
　秋田魁新報　12 ／ 22

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考（展覧会名等）
1	ＧＲＡＹ　ＯＦ　ＧＲＡＹ　Ｎｏ.１　不安の概念	1981	シルクスクリーン・紙	102.0 × 102.0	版画集「GRAY OF GRAY」
2	ＧＲＡＹ　ＯＦ　ＧＲＡＹ　Ｎｏ.２　象徴の消滅	1981	シルクスクリーン・紙	72.0 × 72.0	版画集「GRAY OF GRAY」
3	ＧＲＡＹ　ＯＦ　ＧＲＡＹ　Ｎｏ.３　不確かな肖像の意味するもの	1981	シルクスクリーン・紙	99.0 × 71.0	版画集「GRAY OF GRAY」
4	ＧＲＡＹ　ＯＦ　ＧＲＡＹ　Ｎｏ.５　アンチモニュメントＢ	1981	シルクスクリーン・紙	95.0 × 115.0	版画集「GRAY OF GRAY」
5	ＧＲＡＹ　ＯＦ　ＧＲＡＹ　Ｎｏ.６　浮遊	1981	シルクスクリーン・紙	72.0 × 98.0	版画集「GRAY OF GRAY」
6	ＧＲＡＹ　ＯＦ　ＧＲＡＹ　Ｎｏ.８　ドア	1981	シルクスクリーン・紙	97.0 × 71.0	版画集「GRAY OF GRAY」
7	ＧＲＡＹ　ＯＦ　ＧＲＡＹ　Ｎｏ.４　アンチモニュメントＡ	1981	シルクスクリーン・紙	92.0 × 92.0	版画集「GRAY OF GRAY」
8	ＧＲＡＹ　ＯＦ　ＧＲＡＹ　Ｎｏ.７　消えゆく事象	1981	シルクスクリーン・紙	64.0 × 87.6	版画集「GRAY OF GRAY」
9	浮遊	1981	油彩・キャンバス	130.3 × 162.0	個展（サトウ画廊）
10	アンチ・モニュマン	1981	油彩・キャンバス	130.3 × 162.0	個展（日辰画廊）
11	不確かなポートレート	1979	油彩・キャンバス	130.0 × 130.0	現代日本美術の 20 人展

○資料
『代表作は－「次なる一作」』　馬場彬　著　2004(平成 16)年発行
『馬場彬とサトウ画廊の画家たち』　秋田県立近代美術館発行（展覧会図録）　2001(平成 13)年発行

美術館のセカンドスクール的利用

◆ 概　況

	セカンドスクール的利用					総利用学校数	総利用人　数
	幼･保園	小学校	中学校	特別支援学校	高等学校		
4月	0	0	0	0	0	0	0
5月	0	11	4	0	0	15	665
6月	2	13	0	1	0	16	625
7月	0	15	2	0	2	19	631
8月	1	5	3	1	1	11	266
9月	3	21	2	1	0	27	1167
10月	0	1	4	0	2	7	428
11月	0	4	1	0	0	5	214
12月	0	1	0	0	0	1	59
1月	0	1	0	0	0	1	42
2月	0	0	0	0	0	0	0
3月	0		0	0	0	0	0
合計	6園 （157人）	72校 （2,946人）	16校 （830人）	3校 （101人）	5校 （63人）	102校・園 *のべ数	4,097人

総計			
平成24年度	104校（4,774人）	幼・保　7園	157人
平成23年度	126校（6,055人）	〃　3園	76人
平成22年度	92校（3,973人）	〃　4園	125人
平成21年度	106校（4,441人）	〃　10園	375人

◆ 利用校

平成２５年度セカンドスクール利用校一覧

小坂小学校
有浦小学校
長木小学校
雪沢小学校
矢立小学校
山瀬小学校
下浜小学校
御所野小学校
五城目小学校
小吉小学校
石沢小学校
岩谷小学校
小出小学校
大曲小学校
東大曲小学校
花館小学校
大川西根小学校
藤木小学校
神岡小学校
清水小学校
豊川小学校
太田南小学校
角館小学校
中川小学校
生保内小学校
神代小学校
西明寺小学校
桧木内小学校
六郷小学校
千畑小学校
朝倉小学校
旭小学校
栄小学校
境町小学校
黒川小学校
金沢小学校
増田小学校
浅舞小学校
吉田小学校
醍醐小学校
雄物川北小学校
南小学校
福地小学校
大森小学校
十文字第一小学校
十文字第二小学校
睦合小学校
山内小学校
阿気小学校
湯沢西小学校
山田小学校
稲庭小学校
三梨小学校
川連小学校
駒形小学校
横堀小学校
三輪小学校
元西小学校
仙道小学校
東成瀬小学校
豊岩中学校
御所野中学校
東由利中学校
角館中学校
生保内中学校
神代中学校
西明寺中学校
桧木内中学校
横手北中学校
横手南中学校
増田中学校
平鹿中学校
十文字中学校
山内中学校
皆瀬中学校
三輪中学校
高瀬中学校
羽後中学校
志波姫中学校
横手養護学校
湯沢翔北高校
横手高校（定時制）
横手清陵学院高校
クラーク高等学院高校
宮城野高校（仙台市）
長木保育園
沼館保育園
城南保育園
ごしょの保育園
こひつじ幼稚園
浅舞感恩講保育園

◆ 領　域

・図画工作科、美術科、生活科、社会科等の各教科、総合的な学習の時間および特別活動

◆ 内　容

・作品鑑賞…特別展、企画展、コレクション展、館内外の彫刻作品、「美術館」探検
・実技体験…水彩画、墨と顔彩、大画面、土ねんどづくり、新聞紙による彫刻、木でつくる川原石、
　　企画展と関連した制作等
・職場体験、インターンシップ

博物館実習

期間：2013(平成25)年9月4日(水)～9日(月)　6日間
実習生所属大学及び人数：茨城大学 1 名　東海大学 1 名　計 2 名
　※同期間中に大学インターンシップ　横浜国立大学 1 名、山形大学 1 名　計 2 名

◆実習内容

期　日	実　習　内　容
9月 4日(水)	オリエンテーション、施設・設備の見学、作品の取扱いと保存・修復に関する実習1(軸装作品)
9月 5日(木)	教育普及事業に関する実習1(造形活動)、収蔵品の展示に関する実習
9月 6日(金)	受付・監視業務補助、 教育普及事業（鑑賞活動）に関する実習2（対話による鑑賞・やさしい鑑賞シート作成）
9月 7日(土)	美術館講座準備・受付・聴講・補助・片付け
9月 8日(日)	野外彫刻の保存管理及び点検洗浄実習、教育普及事業に関する実習3(やさしい鑑賞シート作成)
9月 9日(月)	図書室資料等整理、実習反省会・資料のまとめ

美術館ボランティア (AMC‘アムック’Akita Museum Cooperator)

秋田県立近代美術館におけるボランティア活動は、生涯学習振興の考えに基づいて導入された。美術館でのボランティア活動を通して、会員が美術に対する愛好心と知識を深めるとともに、県民と美術館の架け橋として主体的に活動することを目指している。

活動は、１カ月に１日(又は半日を２回)程度の活動を目標に、１年間継続することを原則としている。活動内容は、展示室活動、案内活動、事務補助活動、配布活動、野外彫刻清掃活動、イベント活動、自己研修などの他、会員への毎月の会報作成や、交流会、他美術館等における研修なども行っている。新会員については、事前に館職員と AMC 役員によるオリエンテーションを行うなどして活動をサポートしている。

◆会員数・活動内容

1　会員数　91 名（3 月 1 日現在）
2　活動内容
①　展示室活動・案内活動
　ⅰ　館内案内、誘導（館内各施設、順路ほか）
　　・身障者、老人、子供対応
　　・団体の整理、誘導
　ⅱ　美術館での鑑賞マナーの普及活動
　ⅲ　資料配付（リーフレット、作品解説チラシほか）
　ⅳ　質問対応(展示資料、美術館の概要、観光、道路、交通機関など)
②　事務補助活動
　ⅰ　印刷物発送準備作業(ポスター、チラシ、美術館ニュースほか)
　ⅱ　図書・新聞等の資料整理
③　自己研修
　ⅰ　ハイビジョン鑑賞(番組、データベース)
　ⅱ　館蔵作品の調査研究等(図書資料室)
　ⅲ　鑑賞学習会（ギャラリートーク、ワークショップ等への参加)
④　その他の活動
　ⅰ　ふるさと村内でのＰＲ活動(展覧会・付帯事業)
　ⅱ　ミュージアムコンサート等の手伝い
　ⅲ　講演会準備の手伝い
　ⅳ　野外彫刻の清掃
　ⅴ　印刷物(ＡＭＣ通信など)の作成・発行

◆おもな関連行事

①　鑑賞学習会(特別展 3 本、企画展 2 本、コレクション展 4 本で各 1 ～ 2 回)
②　役員会(13 回)
③　講演会・美術館講座・コンサートへの参加
④　研修旅行(9/29)
⑤　新会員オリエンテーション(随時)
⑥　自主企画「絵本昔ばなし読み聞かせ」(7/27 当館キッズルーム)
⑦　総会(3/9)

収集事業

収集方針
①秋田蘭画・初期洋風画作品や資料
②近代以降の本県出身及びゆかりの作家の作品
③日本の美術思潮を学ぶことのできる作品や資料
④当館の収集作品としてふさわしい内外の作品や資料

美術品収集

◆美術品等収集状況(平成25年度末まで)

種　別	県美術品取得基金	優秀美術作品収集事業	寄　贈	他施設から所管替	合　計
秋田蘭画	6	0	1	5	12
東洋画	0	0	1	1	2
日本画	225	31	173	166	595
洋画	58	148	184	70	460
版画	11	34	237	69	351
彫刻	126	12	34	5	177
工芸	29	1	7	1	38
書	13	7	232	2	254
デザイン	0	0	2	6	8
写真	3	0	2	0	5
素描･下絵･資料等	15	0	203	12	230
合計	486	233	1076	337	2132

◆2013(平成25)年度収集

種　別	県美術品取得基金	寄　贈	合　計
洋画	0	1	1
彫刻	0	3	3
書	0	1	1
素描･下絵･資料等	0	1	1
合計	0	6	6

寄贈による収集

No.	種 別	作家名	作品名	制作年	技法・素材	寸法(cm)
1	洋画	一木　弾	阿蘇暮色	－	キャンバス・油彩	45.5×60.6
2	彫刻	小柳　力	天涯　夕	2008	欅	200×60×100
3	彫刻	小柳　力	天涯　朝	2008	欅	270×60×60
4	彫刻	岡　強三	行深・澄心	2012	テラコッタ・木・金属・布	150×155×40
5	書	宮本竹逕	上田秋成の歌	1991	紙・墨・額装	62.0×78.0
6	資料	高橋萬年	高橋萬年書簡	－	紙・墨・淡彩・巻子装	18.0×1052.0

図書資料

分類		平成 25 年度新収図書	分類別合計
一般図書	美術総記	8	1,621
	日本美術	0	2,669
	西洋美術	0	680
	東洋、その他の美術	3	150
	秋田資料	1	564
関係諸学		1	861
所蔵品図録、研究報告、年報		248	4,069
展覧会図録		21	7,006
美術雑誌他		105	6,700
計		387	24,320

美術品保存・修復

No.	種 別	作家名	作品名	修復内容

※ 本年度は実施せず。

美術品の貸し出し

No.	作家名	作品名	貸出先	貸出期間	展覧会名など
1	山脇佐久子	無への位相'96－1	東京都美術館	H25.2/25～4/25	第63回モダンアート展・同時開催特別企画「もう一度見たいあの作家」展
2	山脇佐久子	拡張へ98－1			
3	河村千代三	港	国際教養大学	H25.2/28～8/28	ホールに展示
4	河村千代三	あさ影			
5	寺崎廣業	瀟湘八景	東京新聞社 広島県立美術館 東京藝術大学美術館 静岡県立美術館	H25.3/12～9/4	夏目漱石の美術世界
6	勝平得之	秋田風俗十題・ささまき	秋田県知事公室秘書課	H25.3/28～H25.5/27	副知事室への展示
7	勝平得之	農民風俗十二ヶ月・早乙女			
8～47	藤田嗣治他	藤田一家他40点	平野政吉美術財団	H25.4/1～9/30	『藤田嗣治の祈り、平野政吉の夢』展他
48		ガンダーラ仏像			
49	小泉淳作	春を待つ鳥海山	秋田県立博物館	H25.4/14～6/25	霊峰鳥海に祈る人々
50	小泉淳作	春を待つ鳥海山(スケッチ)			
51	伊藤弥太	象潟の初夏			
52	太田秋耕	鳥海早春			
53	勝平得之	〈秋田十二景〉新川橋	秋田県知事公室秘書課	H25.5/28～7/27	副知事室への展示
54	勝平得之	〈農民風俗十二ヵ月〉水車(7月)			
55	勝平得之	〈秋田風俗十態〉竿燈	秋田県知事公室秘書課	H25.7/28～9/27	副知事室への展示
56	勝平得之	〈農民風俗十二ヵ月〉稲刈り(9月)			
57	田宮進	微風の海景	秋田県知事公舎	H25.8/5～H26.8/4	知事公舎に展示
58	伊藤博次	秋色	国際教養大学	H25.8/27～H26.2/28	ホールに展示
59	佐藤義雄	カフェーにて			
60	横山大観	雲中富士	横浜美術館	H25.9/9～12/20	横山大観展良き師、良き友－紫紅、未醒、芋銭、渓仙
61	横山大観	春曙・秋雨			
62	平福百穂	法然上人	角館町平福記念美術館	H25.9/12～11/7	平福百穂没後80年展－百穂をめぐる人々－
63	平福百穂	獣戯図			
64	平福百穂	杜鵑夜			
65	平福百穂	武尊誅梟師図			
66	平福百穂	彩雲			
67	平福百穂	寒竹双鶴			
68	平福百穂	梅月相思			
69	平福百穂	富嶽図			
70	平福百穂	堅田の一休			
71	平福百穂	菜圃			
72	結城素明	春秋山水			
73	鏑木清方	秋の夜			
74	鏑木清方	紅萩			
75	吉川霊華	弁天財			
76	平福穂庵	乞食図			
77	平福穂庵	墨堤舟游			
78	藤田嗣治	オペラ座の夢	平野政吉美術財団	H25.9/18～11/25	壁画≪秋田の行事≫からのメッセージ－藤田嗣治の1930年代－
79	勝平得之	〈秋田風俗十題〉はり	秋田県知事公室秘書課	H25.9/28～11/27	副知事室への展示
80	勝平得之	〈農民風俗十二ヵ月〉大根干し(11月)			

81 82	白雲 白雲	奥州街道並久保田藩内沿道 風景写生帖 画板	美郷町 学友館	H25.10/1～11/29	菅江真澄と歩く美郷町
83～122 123	藤田嗣治他	藤田一家他40点 ガンダーラ仏像	平野政吉美術財団	H25.10/1～3/31	コレクション展他
124 125	勝平得之 勝平得之	〈秋田風俗十題〉まゆだま 〈農民風俗十二ヵ月〉供米(12月)	秋田県知事公室秘書課	H25.11/28～H26.1/27	副知事室への展示
126	下村観山	三保富士	駿府博物館	H26.1/11～3/9	下村観山展
127 128	勝平得之 勝平得之	〈秋田風俗十題〉かまど 〈秋田風俗十態〉雛売り	秋田県知事公室秘書課	H26.1/28～3/27	副知事室への展示
129	河村千代三	南風	秋田県知事公室秘書課	H26.2/24～H27.2/23	公舎玄関に展示
130 131	伊藤弥太 金沢秀之助	作品 熱国の春	国際教養大学	H26.3/1～H26.8/28	ホールに展示
132 133	勝平得之 勝平得之	〈秋田風俗十態〉天神様 〈農民風俗十二ヵ月〉種まき(4月)	秋田県知事公室秘書課	H26.3/28～5/27	副知事室への展示
134 135	小田野直武 小田野直武	不忍池図 富嶽図	サントリー美術館	H26.3/29～5/11	のぞいてびっくり江戸絵画－ 科学の眼、視覚の不思議－
136 137	伊藤弥太 伊藤弥太	田園の秋 北浦風景	秋田県知事公室秘書課	H26.4/1～H27.3/31	副知事室への展示

調査・研究

河野元昭　　※県内での講座がないかもう一度確認します。

講　座　美術館講座「江戸時代の美術・前期」、秋田県立近代美術館、2013年5月～2014年2月まで７回
講　座　特別講座「ZIPANGUー日本美術史の観点からー」、秋田県立近代美術館、2013 年10月 5日
　　※特別展「ZIPANGU沸騰する日本の現代アート」にちなんで実施。
講　座　明快！Artゼミ「秋田ゆかりの日本画家」、秋田県生涯学習センター、2012年6月～9月まで3回
講　座　秋田ふるさとセミナー「寺崎廣業ー人と芸術ー」、秋田県立図書館、2013年10月18日

論　考　秋田の美術によせて9ー小泉淳作画伯(3)ー」『秋田美術№50』（紀要）、秋田県立近代美術館、
　　2014年3月31日、pp2-3

樫尾康子

作品解説　「ギャラリーと～く　岩合光昭写真展どうぶつ家族」『秋田魁新報』2013 年５月２日

山本丈志

実技講座　山ぼうし絵画同好会、湯沢生涯学習センター（湯沢市）、2012 年 4 月から 12 回
　　（4/10,5/8,6/12,7/10,8/28,9/25,10/9,11/27,12/11,1/8,2/12,3/13）
講　　演「藩政後期の文化　秋田蘭画」、秋田県歴史研究者・研究団体協議会、あきた文学資料館、2013 年 4 月 21 日
講演要旨「藩政後期の文化　秋田蘭画」『秋田歴研協会誌第 51・52 合併号』、秋田県歴史研究者・研究団体協議会、
　　2013 年 6 月 30 日、pp10-13
講　　座「秋田の美術」、秋田県立大学選択講座「秋田の歩き方入門　秋田の美術」、秋田県立大学(秋田市)、2013 年 6 月 20 日
講　　座「秋田の子どもに見せたい秋田蘭画」、第 45 回秋田県造形教育セミナー・秋田県造形教育研究会、AU
　　（秋田市）、2013 年 8 月 2 日
作品解説「ギャラリーとーく　ジパング展」『秋田魁新報』、2013 年 10 月 10 日
作品解説「ジパング展上」『読売新聞秋田版』、2013 年 10 月 10 日
作品解説「ジパング展中」『読売新聞秋田版』、2013 年 10 月 11 日
作品解説「ジパング展下」『読売新聞秋田版』、2013 年 10 月 12 日
講座・対談「W 山本から学ぶ　秋田蘭画からジパング展まで」、あきたまちなか大学、千秋公園旧松下、2013 年 10 月 23 日
作品解説「下村観山、小田野直武、平福百穂」『日本の美Ⅴ　富士山』、美術年鑑社、2013 年 10 月 25 日、p83、p125、p128
講　　演「解体新書と秋田蘭画」、第 63 回全国学校薬剤師会・秋田県薬剤師会、秋田ビューホテル、2013 年 11 月 7 日
作品解説「平福百穂　菜圃」『月刊水墨画』25 巻 8 号、ユーキャン、2013 年 11 月 15 日、裏表紙
作品解説「没後 80 年平福百穂展」河北新報、2013 年 12 月 12 日
論　　考「リアリズムの系譜　秋田蘭画と《不忍池図》をめぐる諸相」美術フォーラム 21 第 28 号、
　　美術フォーラム 21 刊行会、pp104-108
作品解説「ギャラリーとーく　没後 80 年平福百穂展」『秋田魁新報』、2014 年 1 月 15 日
講　　座「秋田蘭画　世界に誇る秋田の文化遺産」、秋田市中央高齢者大学、秋田市文化会館(秋田市)、2014 年 1 月 8 日
講　　座「秋田の芸術家たち　横山津恵」、保戸野地区高齢者学級、保戸野地区コミュニティセンター（秋田市）、
　　2014 年 2 月 21 日
講　　座「平賀源内と小田野直武」、阿仁合ぶらぶらガイド養成講座、阿仁山村開発センター（北秋田市）、2014 年 2 月 22 日
講　　座「秋田蘭画　世界に誇る秋田の文化遺産」、秋田市おもと高齢者大学、秋田市文化会館(秋田市)、2014 年 2 月 25 日
推 薦 文 VOCA 展作家推薦
論　　考「果てしなき闇　山脇佐久子との対話」『秋田美術 No.50』（紀要）、秋田県立近代美術館、
　　2014 年 3 月 31 日、pp4-13
資料作成「果てしなき闇　山脇佐久子展・出展作品目録」『秋田美術 No.50』（紀要）、秋田県立近代美術館、
　　2014 年 3 月 31 日、pp14-19
作品解説「ギャラリーとーく　美術館の眼Ⅶ展」『秋田魁新報』、2014 年 3 月 12 日

西野美佳

指導助言　平成２５年度文部科学省指定「学力定着に課題を抱える学校の重点的・包括的支援に関わる調査
　　研究」における大仙市立西仙北小中学校公開研究会

奈良　香
作品解説　「ギャラリートーク　第Ⅰ期コレクション展　巴里の小西正太郎」『秋田魁新報』2013 年 4 月 11 日

鈴木　京
資料作成「2013 年県内美術展開催一覧（１～ 12 月)」『秋田美術 No.50』（紀要）秋田県立近代美術館、
2014 年 3 月 31 日、pp43-50
資料作成「秋田美術バックナンバー一覧（No.1 ～ 50)」『秋田美術 No.50』（紀要）秋田県立近代美術館、
2014 年 3 月 31 日、pp34-42

内田　洸
論　　考「珊瑚会と金鈴社の画家たち研究ノート　附：作品紹介　池大雅門人片山無知」『秋田美術 No.50』（紀要)、
秋田県立近代美術館、2014 年 3 月 31 日、pp20-33

古山広和（秋田県立近代美術館長期研修員）
資料作成「2013 年県内美術展開催一覧（１～ 12 月)」『秋田美術 No.50』（紀要）秋田県立近代美術館、
2014 年 3 月 31 日、pp43-50

刊行物

◆ＡＲＫ(アーク、秋田県立近代美術館ニュース)
秋田県立近代美術館では､展覧会の概要やさまざまな美術館活動などの広報を目的とし､美術館ニュース｢ＡＲＫ｣を年２回発行している。(平成20年度よりデザインを親しみやすいものに改変した)｢ＡＲＫ｣とは、ラテン語で「箱」を意味する言葉で､『聖書』では､ノアが大洪水から逃れた箱船のことをさす。当館の外観が“空中に浮遊する巨大な箱船”に見えることから命名された。

No.66　2013年9月30日発行　A3二つ折り　4頁
展覧会リポート：岩合光昭写真展「動物家族」、光のシンフォニー 藤城清治の世界展
巴里の小西正太郎、勝平得之が歩んだ道
みんなの教室リポート：木のクラフト教室
トピックス：ZIPANGU秋田展、はじまる !!!
2013年度・上半期の美術館リポート、インフォメーション
No.67　2014年3月31日発行　A3二つ折り　4頁
展覧会リポート：ジパング展　沸騰する日本の現代アート、没後八〇年平福百穂展
開館２０年美術館の眼Ⅶ 10年間の収集記録2004-2013、珊瑚会と金鈴社の画家たち
事業報告：出前美術館 ARTが学校にやってきたin雪沢小学校､ネットワーク事業 県立図書館と連携した展覧会
トピックス：セカンドスクール
2013年度・下半期の美術館リポート、インフォメーション

◆秋田美術　第50号　2014年3月31日発行　A4　頁
秋田県の美術や美術教育､そして展覧会等に関する調査・研究活動の成果を論文として集約するとともに、秋田県内の美術界の動きを総括し、県内美術館、ギャラリー等の展覧会開催状況をまとめている。
今号は第50号を記念し「秋田美術バックナンバー総覧」を掲載。

◆パンフレット
平成26年度行事案内リーフレット
2014年3月発行　A4　2頁

入館状況

平成25年度　月別入館者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入館者数（人）	3,552	8,372	7,230	11,238	28,035	16,048	9,262	6,348	3,182	2,623	4,340	2,447	102,677

利用者数一覧表

事業別 / 区分			入館者	特別展入場者				企画展入場者				その他※(4)
				岩合光昭写真展「どうぶつ家族」	光のシンフォニー藤城清治の世界展	ジパング展 沸騰する日本の現代アート	計	美術館の眼 Ⅵ ※(1)2/6～	没後80年平福百穂展	美術館の眼 Ⅶ ※(2)～4/20	計	計
開催期間			4/1(月)～3/31(月)	4/20(土)～6/26(水)	7/6(土)～9/8（日）	9/14(土)～11/10(日)		4/1(月)～4/14(日)	11/16(土)～2/2(日)	2/7(金)～3/31(月)		
日数（日)※(3)			352	68	65	58	191	14	66	53	133	28
利用者数（人）			102,677	17,145	45,107	15,220	77,472	1,053	4,657	4,140	9,850	15,355
一日平均（人）			292	252	694	262		75	71	78		
有料	個人	一般･学生		7,182	27,905	6,564	41,651	0	0	0	0	0
		シルバー		0	0	0	0	0	0	0	0	0
		身障 一般･学生		226	926	140	1,292	0	0	0	0	0
	団体	一般･学生		176	733	106	1,015	0	0	0	0	0
	合　計			7,584	29,564	6,810	43,958	0	0	0	0	0

※(1)「美術館の眼Ⅵ」は、平成２５年２月６日～４月１４日まで開催。

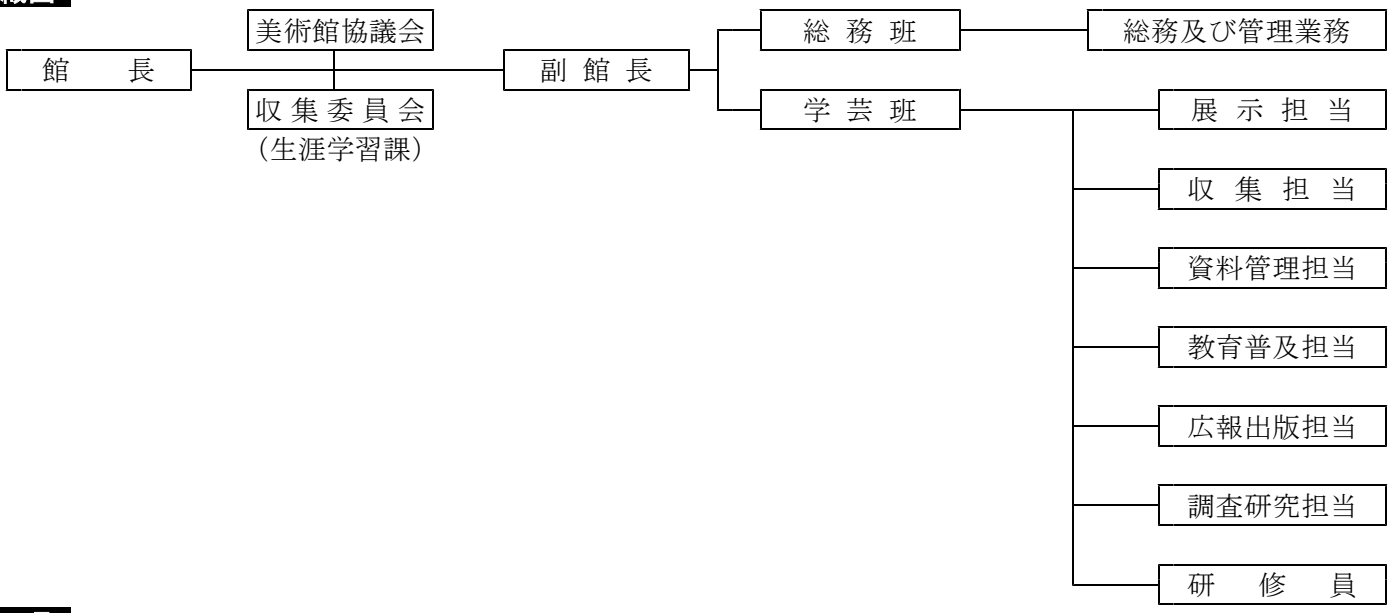
※(2)「美術館の眼Ⅶ」は、平成２６年２月７日～平成２６年４月２０日まで開催。

※(3) 平成２５年１２月２９日～３１日、平成２６年１月１４日～２３日は年末及び館内メンテナンスのため休館。

※(4) その他利用者数15,355人には、ネットワーク事業(県立図書館にて)の観覧者5,314人、出前美術館の観覧者1,740人、出前彫刻展の観覧者3,600人、さきがけホール開設記念美術展2,373人、常設展の2,328人等が含まれる。

組　織

組織図



職　員

館長	河野元昭		
副館長	三浦　直	事務補助職員	佐藤真紀子
副主幹（兼）班長	門脇郁子	学芸補助職員	藤原　葵
主査	渡部雄二	解説員	松下公子
	齊藤憲治		高橋亜紀子
主任学芸主事（兼）班長	樫尾康子		柴田千泰
主任学芸主事	山本丈志		岡田聡子
学芸主事	西野美佳		西村真由子
	木村雅洋		児玉友美
	奈良　香		大坂英里
	藤井正輝		柿崎美和子
	鈴木　京		芹沢千鶴
	内田　洸		大越秋穂
技能主任	菊地信夫		樋渡初美香
研修員	古山広和		佐々木美佳
		臨時職員	佐々木宏子

美術館協議会委員

会長	石川喜美子	社会教育アドバイザー
副会長	秋島祐子	横手市教育委員会生涯学習課長
	泉　正明	会社員
	市川克美	日本放送協会秋田放送局局長
	伊藤孝俊	横手市立南中学校長
	岩谷真紀子	北秋田市鷹巣東保育園保育士
	小川浩義	(株)秋田魁新報社文化部部長
	佐々木久隆	モダンアート協会会員
	高橋都々子	秋田ふるさと村営業企画部課長
	横山章子	公募

建築・設備概要

建築概要

建　設　地／秋田県横手市赤坂富ヶ沢62-46
敷 地 面 積／164,936.81㎡(秋田ふるさと村)
建 築 面 積／2,947.32㎡
延 床 面 積／11,166.50㎡
構　　造／鉄骨鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)
　　地下1階　地上7階　ＰＨ1階
設　　計／株式会社　山下設計東北支社
監　　理／秋田県土木部営繕課・山下設計東北支社

施　工

建 築 工 事／大成・フジタ・三井・伊藤建設工事企業体
空　　調／ダイダン・山二建設工事共同企業体
電　　気／東光電気・伊藤電気建設工事共同企業体
給排水衛生／岡田水道施設工事（株）
受　変　電／羽後・伊藤電気建設工事共同企業体
弱　　電／千代田電気工業(株)
昇　降　機／三菱電機(株)

設備概要

●電気設備
受変電設備／受電電圧3f　3W　6.6KV　50Hz
　　設備容量1,500KW
非常用発電設備／ディーゼル発電器(Ａ重油)300KVA200V
蓄電池設備／非常照明・電源設備制御兼用　250Ah×1台
監 視 設 備／中央監視装置：機能分散型ＤＤＣ方式による集中監視制御
照 明 設 備／蛍光管主体
　　展示室照明：高演色性蛍光管(調光及び集中点滅制御方式)　外壁照明：無電極ランプ(パターン照明方式)
視聴装置設備／拡声放送・電気時計・身障者トイレ呼出表示・ＴＶ共聴研修室ＡＶ装置・ハイビジョンギャラリー4系統(110インチ背面投射型1台・60インチ背面投射型3台)ハイビジョンデータベースシステム1系統(32インチＣＲＴ1台)
防 犯 設 備／防犯センサー・ＩＴＶ装置
防 災 設 備／自動火災装置・防排煙設備

●空調設備
熱 源 設 備／吸収式冷温水発生機2000RT×2台　ＬＰＧ
　　焚真空式温水ボイラー80,000Kcal/H×1台
空 調 設 備／ユニット型空調機(還風機組込型)×4台
　　ユニット型空調機(全熱交換機組込一体型)×5台
　　ファンコイルユニット天井カセット型×105台
　　水冷式パッケージ型空調機×6台
　　空冷式ヒートポンプ型パッケージ×3台
換 気 設 備／第1種及び第3種換気方式
排 煙 設 備／機械排煙及び自然排煙
自動制御設備／機能分散型
薫 蒸 設 備／常圧手動式ユニット型20㎡

●給排水衛生設備
給 水 設 備／上水引込口径75㎜　重力給水方式
　　受水槽24m³　高置水槽6m³
給 湯 設 備／局所式(電気貯湯式)：各階湯沸室・宿直室ガス
排 水 設 備／建物内：汚水・雑排水・雨水の各分流式
　　建物外：生活排水はふるさと村施設全体の浄化槽へ導入
ガ ス 設 備／ふるさと村施設全体の集中ＬＰＧ装置より供給
　　主に空調用熱源のエネルギー源として利用
消 火 設 備／炭酸ガス消火・屋内消火栓

●エレベーター設備

乗用エレベーター	1150kg	105m/分	2台
乗用エレベーター	1150kg	90m/分	1台
荷物用エレベーター	3000kg	45m/分	1台
小荷物用エレベーター	300kg	30m/分	1台

●エスカレーター

展望エスカレーター	9000人/時	30m/分	1分

主な設備

5階展示室(4室)	983.10㎡	収蔵庫(5室)	852.9㎡
(1)	260.28㎡	会議室	69.4㎡
(2)	293.76㎡	実習室・準備室	135.0㎡
(3)	237.13㎡	図書資料室	160.5㎡
(4)	191.93㎡	調査研究室	45.5㎡
6階展示室(3室)	786.90㎡	ハイビジョンギャラリー	241.9㎡
(1)	255.96㎡	研修室	226.7㎡
(2)	293.76㎡	キッズ・ルーム	128.9㎡
(3)	237.13㎡		

関係法規

秋田ふるさと村条例（抜粋）

第１章　総　則
（設置）
第１条
　秋田県の文化遺産を次代に継承するとともに、郷土の文化を創造する機会を提供し、及び観光レクリエーション活動のための利便の増進を図り、もって県民のゆとりのある文化的な生活の向上に寄与するため、秋田県ふるさと村（以下ふるさと村という）を横手市赤坂字富ヶ沢に設置する。
（業務）
第２条
　ふるさと村は、次の表の上欄に掲げる施設の区分に応じ、それぞれ同表の下欄に掲げる業務その他ふるさと村の設置の目的を達成するために必要な業務を行う。

施　　設	業　　務
秋田県立近代美術館	県にゆかりある作家の優れた美術作品を中心に収集し、保管し、及び展示し、併せて美術に関する調査研究及び普及活動を行う。

第２章　近代美術館
（近代美術館）
第４条
　秋田県立近代美術館（以下「近代美術館」という。）は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第30条に規定する教育機関とする。
（職員）
第５条
　近代美術館に事務職員その他の所要の職員を置く。
（近代美術館協議会）
第６条
　近代美術館に博物館法（昭和26年法律第285号）第20条第２項に規定する博物館協議会として、秋田県立近代美術館協議会（以下「協議会」という。）を置く。
２　協議会は、委員10人以内で組織する。
３　委員は、次に掲げる者のうちから、教育委員会が任命する。
　一　学校教育及び社会教育の関係者
　二　家庭教育の向上に資する活動を行う者
　三　学識経験のある者
　四　近代美術館の利用者
４　委員の任期は、２年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
（入場料等の徴収）
第７条
　近代美術館の特別展示室（特別の企画に基づく展示を行う展示室をいう。以下同じ）に入場する者から、別表第１に定めるところにより、入場料を徴収する。ただし、幼児、小学校児童、中学校及び高等学校の生徒並びに高等専門学校及び大学の学生（これらの者に準ずる者を含む。）については、この限りではない。
２　前項本文の規定にかかわらず、同項本文の入場料と合わせてふるさと村のスノーホワイト城又はかまくらシアターの使用料を同時に納める者の入場料（定期券によるものを除く。）については、別表第１に定める金額の範囲内において知事が別に定める。
３　入場料は、特別展示室への入場の都度徴収する。ただし、定期券による入場にあたっては、これを発行するときに徴収する。
（入場料等の減免）
第８条
　知事は、特別の理由があると認めたときは、入場料を減免することができる。
（入場料等の不還付）
第９条
　既に徴収した入場料は、還付しない。ただし、知事は、入館者の責めに帰することができない理由により特別展示室に入場することができなくなった場合その他特に必要があると認めた場合は、その一部又は全部を還付することができる。
（規則への委任）
第10条
　この条例に定めるもののほか、近代美術館の管理に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附則
　この条例は、平成24年４月１日から施行する。

別表第１
特別展示室の入場料（第７条関係）

区　　分	金額（一人につき）
普通料金	800円。ただし、知事が別に定める展示にあっては、1,500円を超えない範囲内で知事が定める額
団体料金 （20人以上の団体）	720円。ただし、知事が別に定める展示にあっては、1,350円を超えない範囲内で知事が定める額
定期券 （有効期間１年）	1,500円。

教育機関の管理及び運営に関する規則（抜粋）

（趣旨）
第１条
　この規則は、学校以外の教育機関の管理及び運営の基本的事項を定めるものとする。
第12条
　条例第６条の規定による使用料の減免を受けようとする者は、別に定めるところにより、申請書を知事に提出しなければならない。
　第８章の２　近代美術館
（開館時間）
第37条の２
　秋田県立近代美術館（以下この章において「近代美術館」という。）の開館時間は、午前９時30分から午後５時までとする。ただし、近代美術館の長（以下この章において「館長」という。）は、必要があると認めるときは、当該時間を変更することができる。

（休館日）
第37条の３
　近代美術館の休館日は、次の各号に掲げるとおりとする。
１　年始（１月１日及び１月２日）
２　年末（12月29日から12月31日まで）

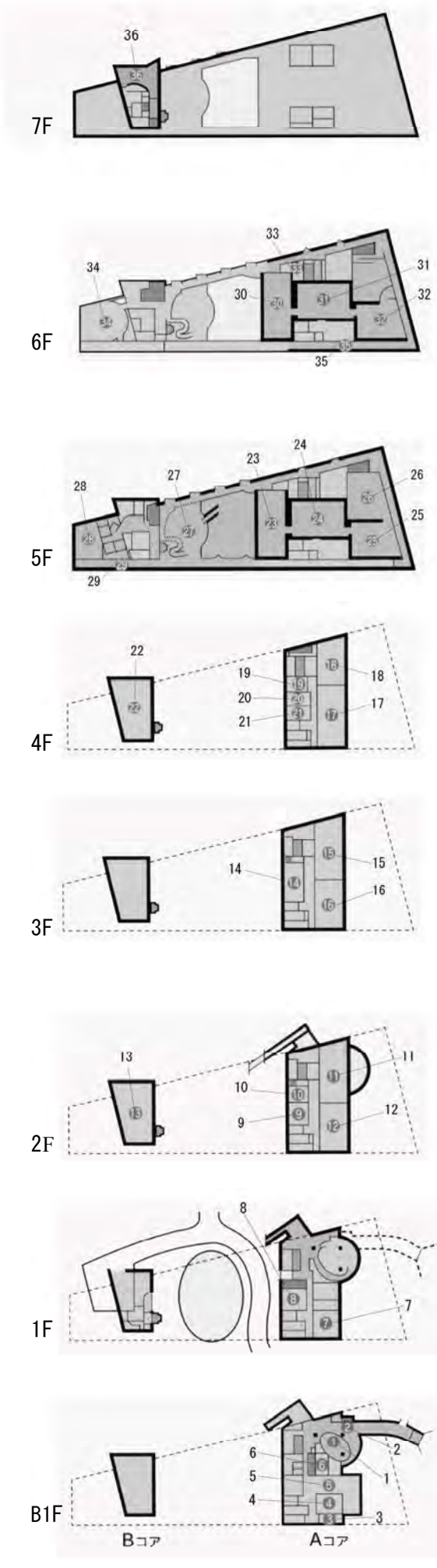
（資料の館外貸出し等）
第37条の４
　近代美術館の資料の館外貸出しを受け、又は特別利用しようとする者は、館長の定めるところにより、所要の手続きを経なければならない。

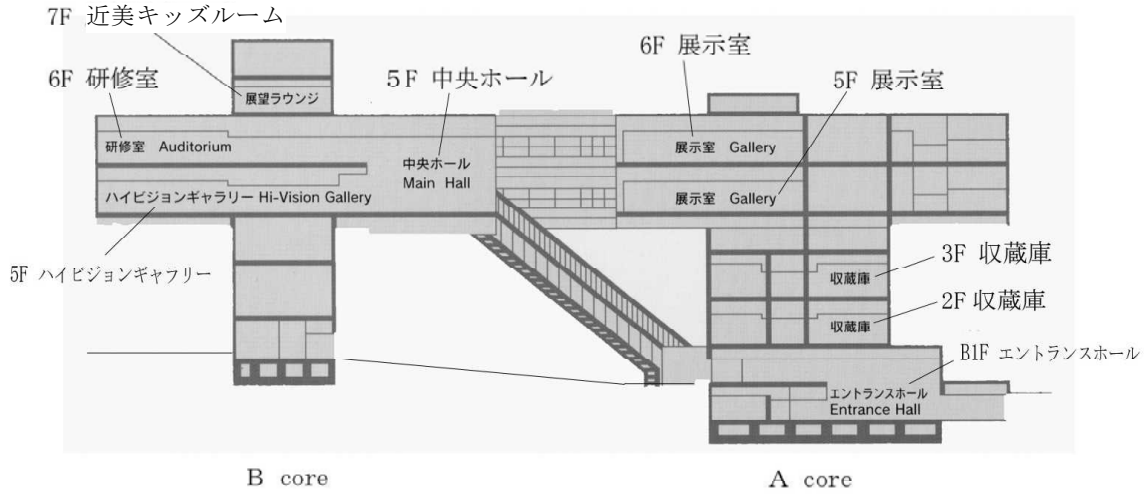
（準用）
第37条の5
　第３条第３項及び第４項の規定は近代美術館の休館日の取扱い等について、第６条の規定は近代美術館の利用を拒否し、又は近代美術館からの退去を命ずる場合について、第７条の規定は近代美術館に資料を寄贈する場合等の手続について、第12条の規定は秋田県ふるさと村条例（平成５年秋田県条例第45号）第８条の規定による入場料の減免を受けようとする場合について準用する。
（補則）
第37条の６
　この章に定めるもののほか、近代美術館の管理及び運営に関し必要な事項は、館長が教育長と協議して別に定める。

附則
　この規則は、平成21年４月１日から施行する。

館内図

7F	36	近美キッズ・ルーム	Kid's Room
6F	35	スロープギャラリー	Slope Gallery
	34	研修室	Auditorium
	33	授乳室	Baby Room
	32	展示室(3)	Exhibition Gallery3
	31	展示室(2)	Exhibition Gallery2
	30	展示室(1)	Exhibition Gallery1
5F	29	ふれんどりーギャラリー	Friendly Gallery
	28	ハイビジョンギャラリー	Hi-Vision Gallery
	27	中央ホール	Main Hall
	26	展示室(4)	Exhibition Gallery4
	25	展示室(3)	Exhibition Gallery3
	24	展示室(2)	Exhibition Gallery2
	23	展示室(1)	Exhibition Gallery1
4F	22	電気室	Electric Room
	21	調査・研究室	Study Room
	20	館長室	Director’s Room
	19	応接室	Lounge
	18	図書・資料室	Library
	17	事務室	Museum Office
3F	16	収蔵庫(5)	Storage Room5
	15	収蔵庫(4)	Storage Room4
	14	収蔵庫(3)	Storage Room3
2F	13	機械室	Machine Room
	12	収蔵庫(2)	Storage Room2
	11	収蔵庫(1)	Storage Room1
	10	暗室	Dark Room
	9	写真室	Photo Studio
1F	8	会議室	Conference Room
	7	実習室	Atelier
B1F	6	薫蒸室	Fumigation Room
	5	荷解室	Packing Room
	4	一時保管庫	Temporary Storage Room
	3	管理室	Guard Room
	2	インフォメーション	Information
	1	エントランスホール	Entrance Hall





1　エントランスホール
彫刻が並ぶアプローチギャラリーを抜けると大理石の壁に囲まれたエントランスホールが広がります。

2　エスカレーター　外の景色をながめながら、1 階から 5 階へと皆様をお連れします。

3　中央ホール　自然光一杯のアトリウムは展示スペースへの入り口です。正面にハイビジョンギャラリー、右へ進むと展示室へと続きます。

4　ハイビジョンギャラリー　美術館の所蔵品や国内外の名作を高精細度の画像で提供するスペースです。

5　展示室　5 階 4 部屋の企画展示室では、美術館独自の企画、他美術館・諸団体との共催により、広く内外の美術を特色あるテーマでご紹介します。また 6 階 3 部屋のコレクション展示室では、年 4 ～ 6 回の展示替えを行いながら、美術館の所蔵品を常時公開しています。

6　実習室　専門的な技法講座や基礎的な美術講座など、幅広い実技講座を行います。

7　研修室　充実した AV 機器を完備し、展覧会に合わせた講演会の開催や美術史講座など、多目的に活用できるスペースです。

8　収蔵庫　5 室からなる収蔵庫は、温湿度管理によって多くの作品保存・管理に対応できる機能をもっています。

9　野外展示スペース　自然の起伏を利用した緑の中の展示空間です。見るだけでなく、直に触れることで、より身近に作品を鑑賞していただけます。

利用案内

◆開館時間

午前9時30分～午後5時00分
（入館は午後4時30分まで）

◆無料公開日

H25 年度は実施せず

◆休館日（2013 年度）

2013年12月29日～12月31日（年末休館）
2014年 1月14日～ 1月23日（メンテナンス休館）

◆料　金

	一般	大学生	高校生以下
特別展 岩合光昭写真展どうぶつ家族	800円	600円	無料
特別展　藤城清治の世界展	1，200円	1，000円	無料
特別展　ジパング展	1，000円	800円	無料
企画展・コレクション展	無料	無料	無料

※団体（20名以上）200円引

教育課程に基づく学習活動として利用する児童・生徒・学生及び引率者の入館料は免除されます。あらかじめ「観覧料免除申請書」を提出し、その承認を受けて下さい。

General Information

◆Museum hours

9:30a.m.～ 5:00p.m.（No entrance after 4:30p.m.）

◆Admission Free

It does not carry out.

◆Closed（Fiscal 2013）

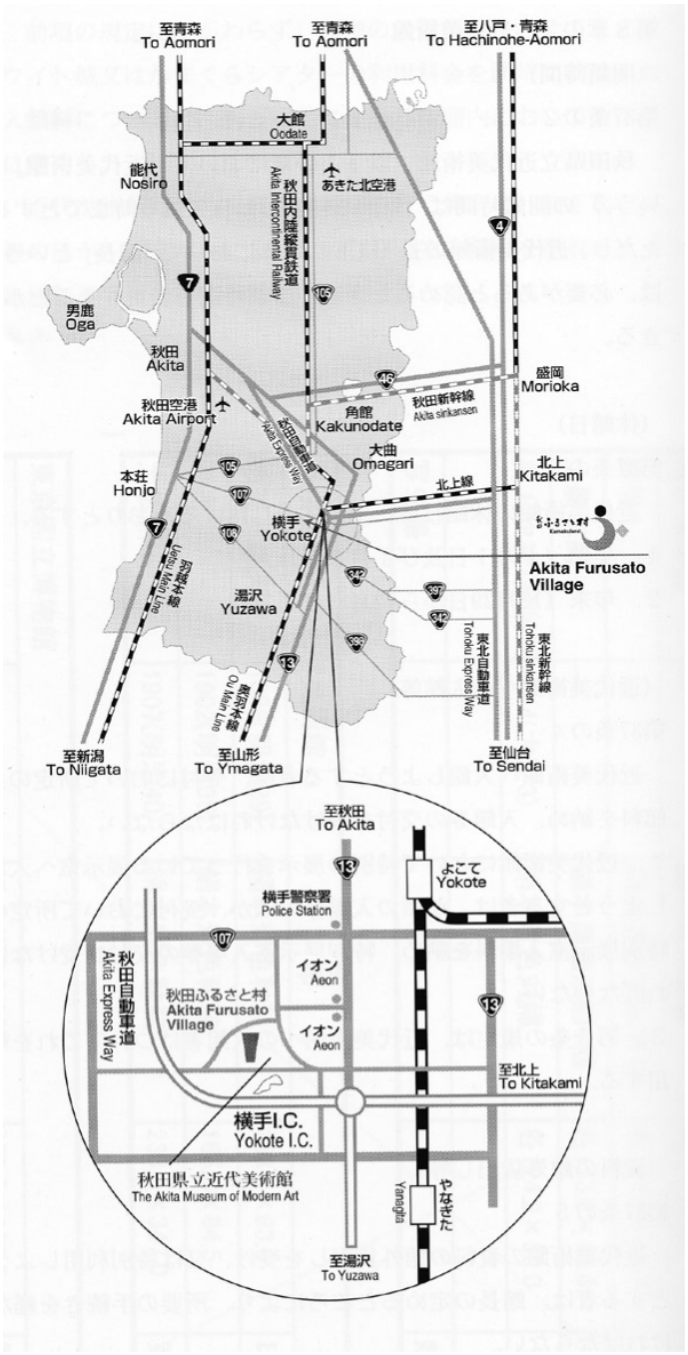
- Dec.29-31,2013　Year-end Holidays
- Jan.14-23,2014　General Maintenance

◆Admission Fee

	Adult	Student	Child
Special Exhibition Iwago mitsuaki	¥800	¥600	¥0
Special Exhibition Fujisiro seiji	¥1,200	¥1,000	¥0
Special Exhibition zipangu	¥1,000	¥800	¥0
Permanent Exhibition	¥0	¥0	¥0

※ Parties of 20 or more persons are offered a discount of ¥200 off the normal admission price.

交通案内　Transportation



・（ＪＲとバスで）
ＪＲ横手駅東口からバス「ふるさと村行き」で、
ふるさと村下車
・（お車で）
秋田自動車道　横手インターより３分
・（高速バスで）
高速バス　湯沢・秋田線「横手インター入口」下車
徒歩１０分
・（By JR train and bus）
Get off at JR Yokote Station.　Go out of the East Exit and take the bus for Akita-Furusato Mura.
・（By car）
Get off at Yokote Interchange on the Akita Express Way, then you will get there in 3 minutes.
・（By Express bus,Yuzawa-Akita Line）
Get off at "Yokote Inter Iriguchi", then you will get there in 10 minutes on foot.

秋田県立近代美術館年報　2014 年 3 月製作

編集・発行　秋田県立近代美術館

〒 013-0064 秋田県横手市赤坂字富ヶ沢 62-46

TEL.0182-33-8855　FAX.0182-33-8858

URL http://www.pref.akita.jp/gakusyu/public_html/index.html

E-mail:akitamma@r nac.ne.jp